

# 広川町 新型コロナウイルス感染症に 負けないまちづくり アンケート報告会

九州産業大学地域共創学部  
地域づくり学科 山下永子 研究室  
×  
広川町役場政策調整課



広川町・九州産業大学共同研究

広川町

# 新型コロナウイルス感染症に負けないまちづくり アンケート報告会

2020. 2. 24

山下 永子

九州産業大学 地域共創学部 地域づくり学科 教授  
語学教育研究センター長 兼

博士(公共政策学)・MBA(経営学修士)・専門社会調査士 2

# 1. イントロダクション

# 0. 自己紹介 山下永子

九州産業大学 地域共創学部 地域づくり学科 教授。  
(語学教育研究センター所長)

■久留米市生まれ、福岡市在住。

■熊本大学文学部地域科学科社会学コース卒業後、

地方銀行(西日本シティ銀行)、建設コンサルタント会社、マーケティングリサーチ会社・総合研究所、アジアビジネスコンサルタント会社、福岡市男女共同参画推進センター、広告代理店・総合研究所、(公財)福岡アジア都市研究所、等民間・公的機関において、調査研究・事業遂行業務等に従事。

■2005年個人事務所:ソーシャル・プランニング・アンド・リサーチを開業し、フリーランスマーケティングリサーチャー、プログラムオーガナイザーとして活動。

■2013年から2年間、久留米信愛女学院短期大学にて専任講師。

■大学卒業後も専門的な学びを継続し、

96年 福岡建設専門学校夜間建築科卒業、二級建築士合格、

99年 米国に1年留学、英語とマーケティングを学習、

04年 専門社会調査士認定、

05年 熊本大学大学院博士課程修了、博士(公共政策学)取得

14年 オーストラリア私立BOND-BBT大学院修了、MBA(経営学修士)取得。

■広川町総合戦略有識者懇談会委員,委員長 2016年～現在

■広川町総合戦略審議会委員,委員長 2015年～2016年

# 1. 調査の概要

## 1) 調査の目的

新型コロナの影響による町民の学び方・働き方・暮らし方や意識・行動実態や変化を把握し、これからのまちづくり施策の参考とする。

## 2) 調査対象

広川町の生産年齢人口(15歳以上65歳未満)+中学3年生(14歳) 全数

## 3) 調査手法

はがきでQRコードを郵送しWEB回答、希望者に役場にて質問紙回答

## 4) 抽出・配布数

住民基本台帳より全数抽出 11,005名

## 5) 回収数・回収率

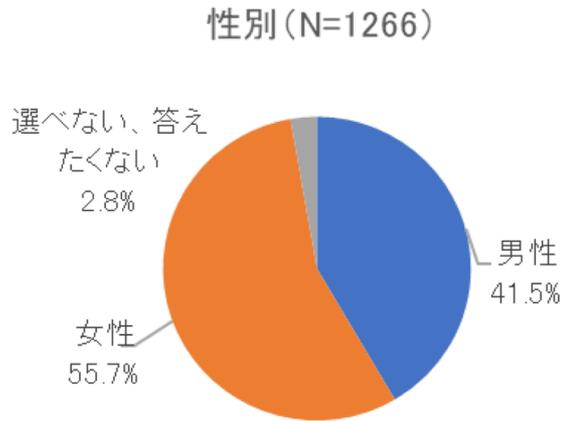
1,266サンプル、11.5%

## 6) 調査時期

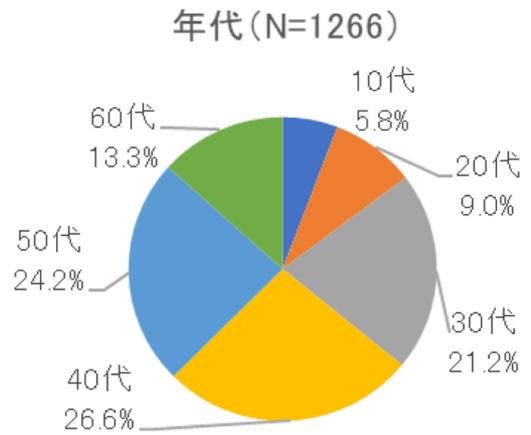
令和2年10月27日～11月15日(17日まで追加受付)

# 2. 回答者属性

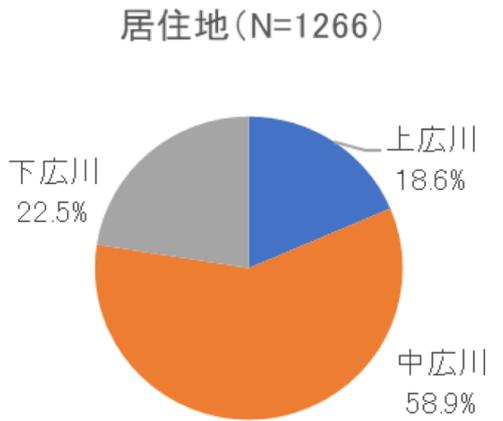
## 1)性別



## 2)年代

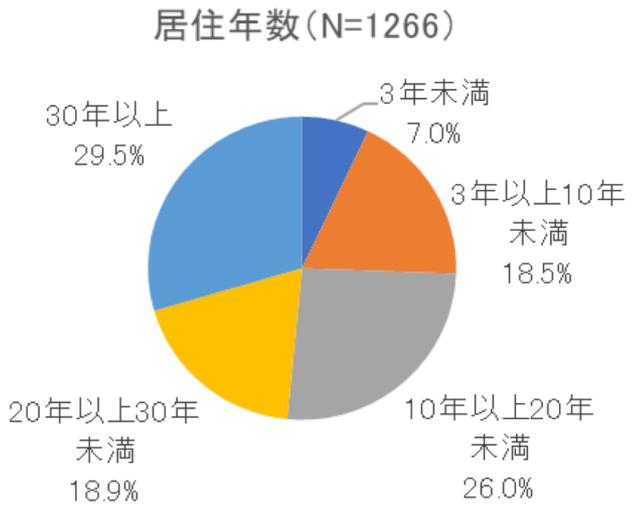


## 3)居住地

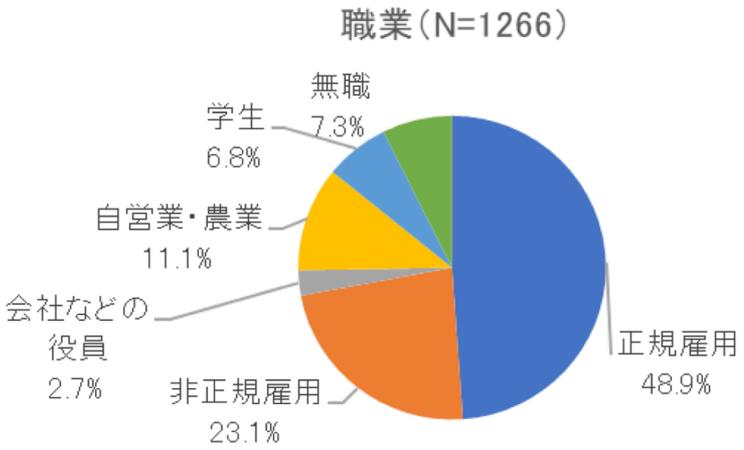


## 4)居住年数

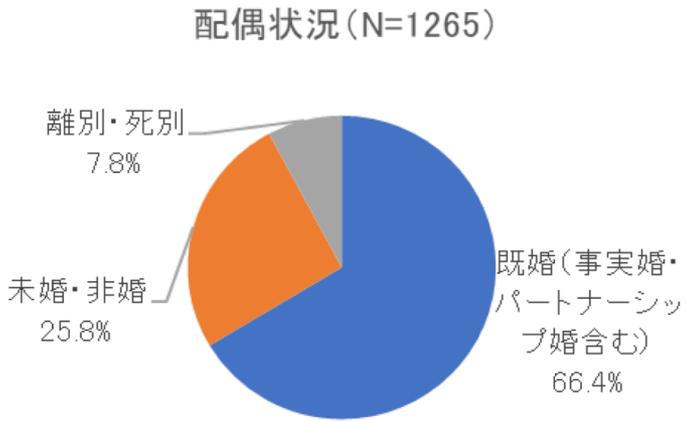
生まれた時から広川町に居住：20.6%  
他所より広川町に移住：79.4%



# 5)職業

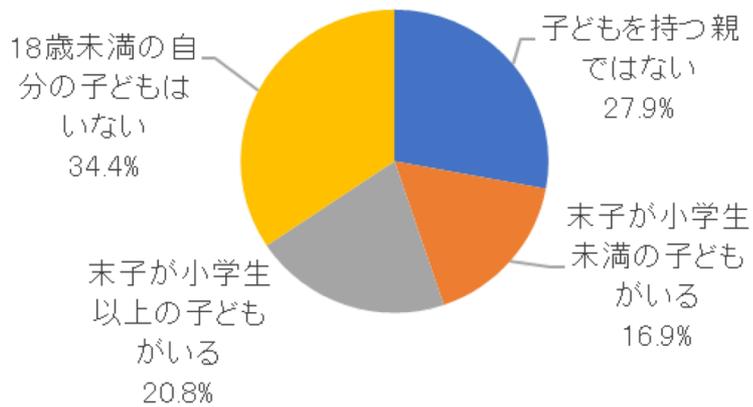


# 6)配偶状況



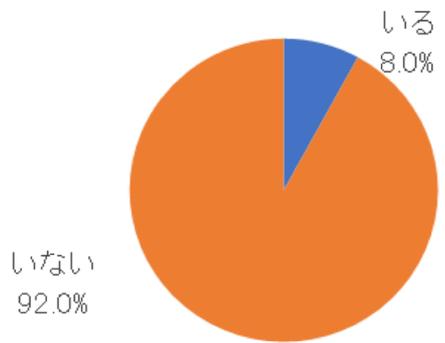
# 7)同居18歳未満の子どもの有無

親として同居する18歳未満の子どもの有無 (N=1265)



# 8)同居介護を要する方の有無

同居する介護を要する方の有無 (N=1266)



### 3.問題意識：個々の実態を明らかにし、まちづくりを進めよう

- 【1】 広川町民は、コロナで働き方がどう変わったの？
- 【2】 広川の会社や自営業・農業が受けた影響・支援ニーズは？
- 【3】 広川町民は、コロナで暮らし方・行動・意識がどう変わったの？
- 【4】 広川町民の結婚・子育て・介護にどのような影響がみられたの？
- 【5】 広川町の学生たちの学習・就職に対する意識は変わったの？
- 【6】 広川町の住み心地は良いの？コロナで広川離れは起きないの？
- 【7】 アンケートはまちづくりのコミュニケーション・ツールって本当？
- 【8】 コロナに負けない広川まちづくりに、一緒に取り組みませんか！

→来年度に向けて施策や事業を共に考えていきたいですね。

## II. 調查結果

# 【1】 コロナ感染症拡大によって、働き方を変えるように推奨されたけれども、広川町民の働き方に変化があったのか？

【働いている方対象：1087名】

1.経験した働き方

2.これからテレワークを行うとしたら：課題

3.働き方に対する意識の変化(仕事の向き合い方などの意識)

4.「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識の変化

5.職業選択やその希望の変化

→6.どのように「職業選択やその希望」は変化したか

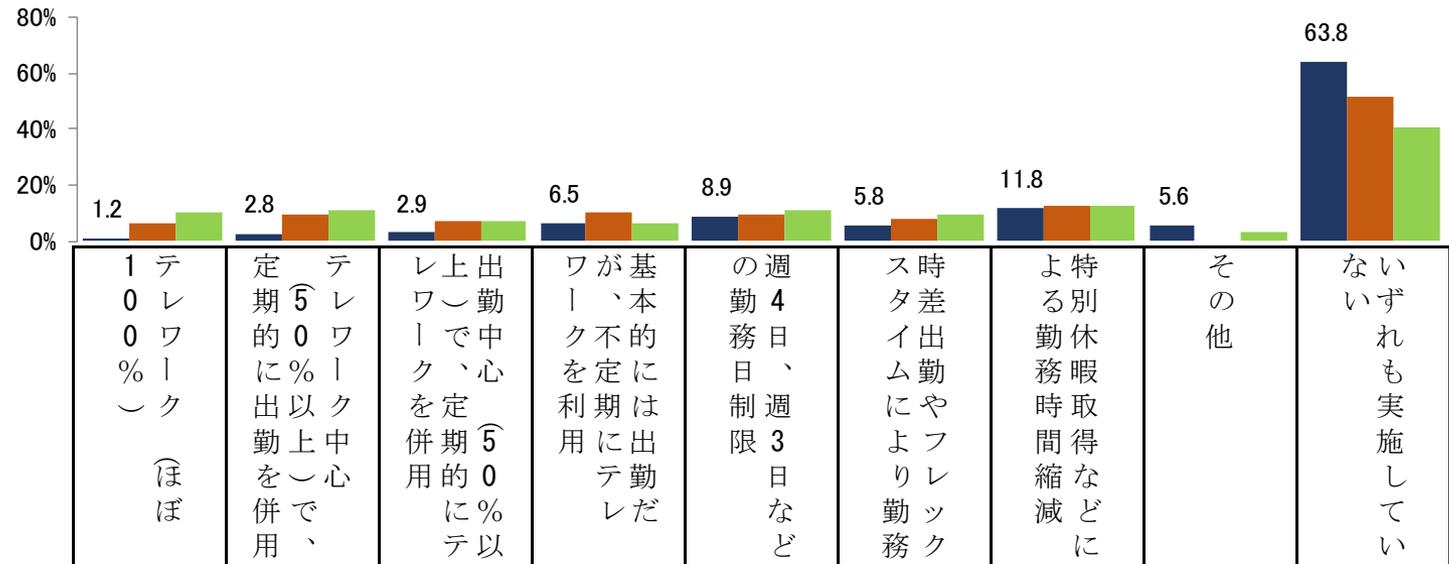
→7.その理由

【全員の方：1265名】

8.将来、働きたい地域に関する考え方が変化したか

# 1. 経験した働き方 \*複数回答

## 【広川町・福岡県・全国比較】



広川町10.11月(N=1087)	1.2	2.8	2.9	6.5	8.9	5.8	11.8	5.6	63.8
福岡県9.10月(N=2097)	6.5	9.4	7.3	10.3	9.2	7.7	12.6	0.0	51.8
全国5.6月(N=10128)	10.5	11.0	6.9	6.1	11.2	9.3	12.6	3.5	41.0

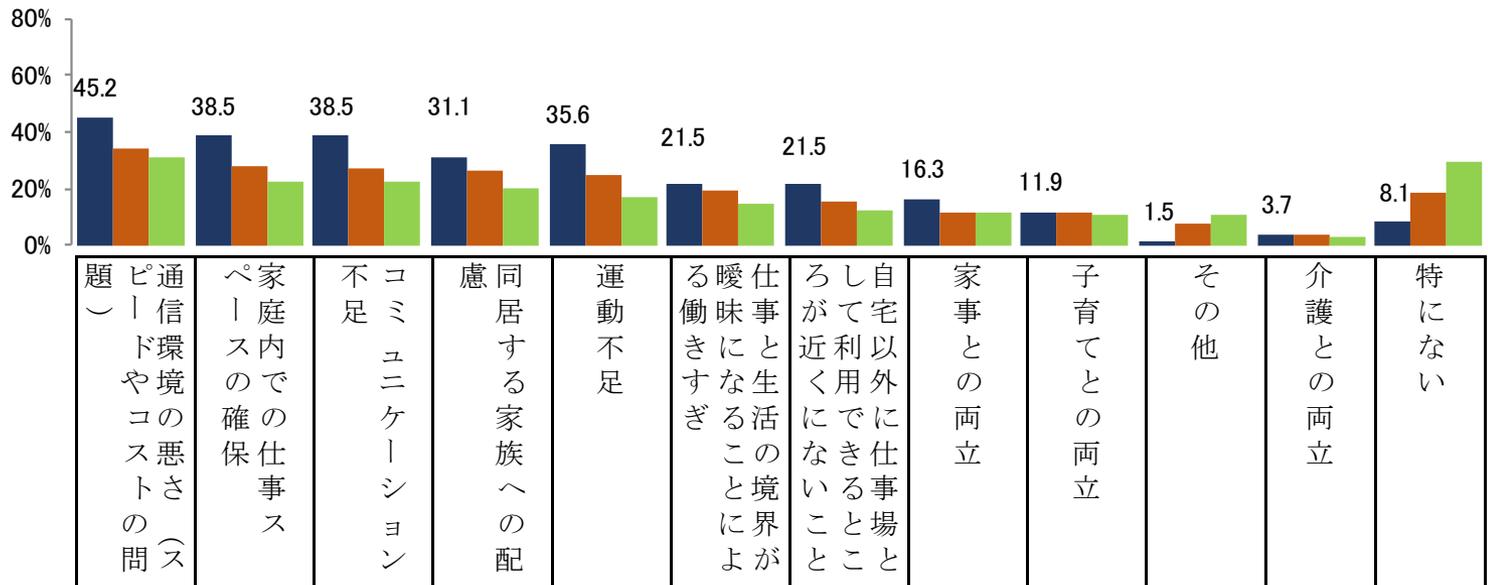
広川町テレワーク経験者数	13人	25人	24人	54人
--------------	-----	-----	-----	-----

注1) 福岡県9.10月調査: 山下永子実施・WEBモニター調査

注2) 全国5.6月調査: 内閣府実施・WEBモニター調査

# 2. これからテレワークを行うとしたら：課題\*複数回答

## 【テレワーク経験】



全体 (N=1086)	33.1	25.5	25.4	23.0	20.6	16.8	14.1	11.9	11.4	9.3	2.9	24.0
テレワーク経験 (n=135)	<b>45.2</b>	<b>38.5</b>	<b>38.5</b>	<b>31.1</b>	<b>35.6</b>	<b>21.5</b>	<b>21.5</b>	<b>16.3</b>	<b>11.9</b>	<b>1.5</b>	<b>3.7</b>	<b>8.1</b>
テレワーク以外の働き方(n=224)	34.4	27.7	26.8	26.3	25.0	19.6	15.2	11.6	11.2	7.6	4.0	18.3
変化なし(n=689)	30.8	22.5	22.5	20.2	16.8	14.7	12.5	11.2	10.9	10.9	2.6	29.6

テレ経験- 未就学児の親(n=23)	30.4	30.4	17.4	21.7	26.1	13.0	8.7	<b>34.8</b>	39.1	4.3	0.0	4.3
テレ経験- 小学生以上の親(n=30)	43.3	<b>63.3</b>	40.0	<b>36.7</b>	30.0	16.7	20.0	13.3	23.3	3.3	3.3	16.7

# 3.働き方に対する意識変化

## 【変化した】

■全体 53.1%

■男性 50.8%    ■女性 55.1%

■テレワーク経験者 65.9%

■未就学児の子と同居する親 52.1%

■小学生以上18歳未満の子と同居する親 61.0%

■テレワーク経験（小学生以上の子同居） 70.0%

■テレワーク以外経験（小学生以上の子同居） 73.6%

## 4. 「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識の変化

### 【感染症拡大前よりも、生活重視に変化】

■全体 33.1%

■男性 35.2%    ■女性 31.8%

■男性20代 42.9%    ■女性30代 40.2%

■テレワーク以外経験（未就学児の子同居） 44.4%

■テレワーク以外経験（小学生以上の子同居） 45.3%

### 【感染症拡大前よりも、仕事重視に変化】

■全体 6.8%

■会社などの役員 23.5%

## 5.職業選択やその希望の変化

### 【変化した】

■全体 17.7%

■男性 17.4%    ■女性 17.5%

■女性20代 25.9%

■テレワーク以外経験（未就学児の子同居） 30.6%

■テレワーク以外経験（小学生以上の子同居） 26.4%

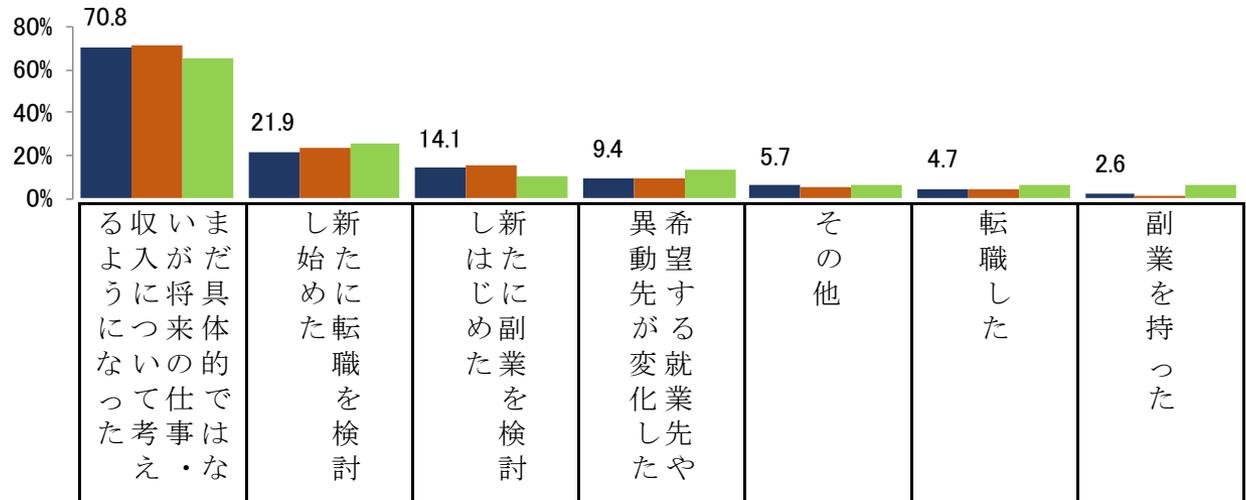
### 【変化していない】

■全体 82.3%

■テレワーク経験（未就学児の子同居） 91.3%

# 6.どのように「職業選択やその希望」が変化 \*変化した192名・複数回答

## 【雇用形態・性年代】

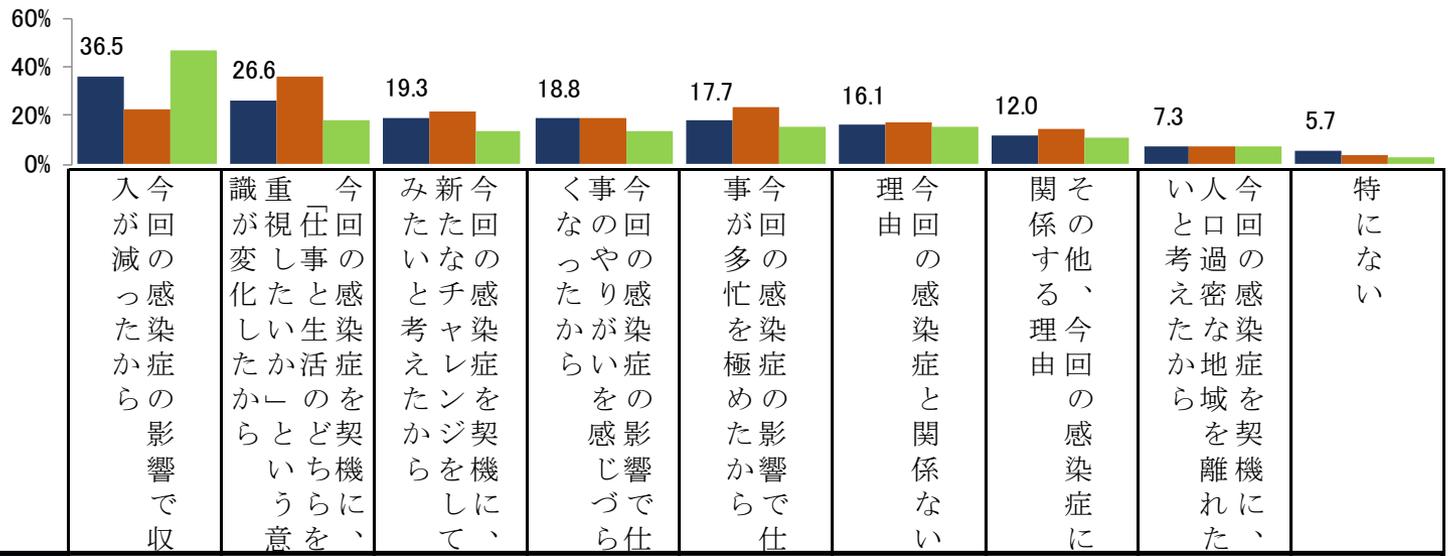


	現状維持	転職を検討し始める	副業を検討し始める	希望する就業先を変えたい	その他	転職した	副業を持った
全体(n=192)	70.8	21.9	14.1	9.4	5.7	4.7	2.6
正規雇用(n=98)	71.4	23.5	15.3	9.2	5.1	4.1	1.0
非正規雇用(n=66)	65.2	25.8	10.6	13.6	6.1	6.1	6.1

男性- 20代(n=7)	71.4	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0
男性- 30代(n=20)	65.0	25.0	20.0	5.0	0.0	15.0	5.0
男性- 40代(n=28)	71.4	10.7	14.3	10.7	7.1	7.1	0.0
男性- 50代(n=17)	82.4	35.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
女性- 20代(n=14)	71.4	35.7	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1
女性- 30代(n=29)	72.4	34.5	3.4	20.7	6.9	6.9	0.0
女性- 40代(n=32)	62.5	18.8	21.9	3.1	6.3	3.1	3.1
女性- 50代(n=24)	66.7	8.3	12.5	12.5	12.5	0.0	8.3

# 7. 「職業選択やその希望」が変化した理由 \*変化した192名・複数回答

## 【雇用形態・性年代・テレワーク経験】



全体(n=192)	36.5	26.6	19.3	18.8	17.7	16.1	12.0	7.3	5.7
正規雇用(n=98)	22.4	35.7	21.4	19.4	23.5	17.3	14.3	7.1	4.1
非正規雇用(n=66)	47.0	18.2	13.6	13.6	15.2	15.2	10.6	7.6	3.0

男性- 30代(n=20)	35.0	20.0	40.0	30.0	10.0	20.0	10.0	5.0	0.0
男性- 40代(n=28)	50.0	39.3	21.4	21.4	17.9	3.6	3.6	7.1	0.0
女性- 30代(n=29)	31.0	37.9	10.3	10.3	20.7	20.7	24.1	0.0	0.0
女性- 40代(n=32)	28.1	18.8	21.9	21.9	28.1	12.5	18.8	18.8	6.3
テレワーク経験 (n=32)	28.1	40.6	34.4	25.0	25.0	6.3	6.3	12.5	0.0
テレワーク以外の働き方(n=57)	56.1	22.8	15.8	22.8	8.8	17.5	7.0	10.5	3.5

## 8. 将来、働きたい地域に関する考え方の変化

### 【変わらない】

■全体 88.9%

■女性20代 78.1% ■男性20代 82.2%

### 【広川町で働きたいと思うようになった】

■全体 5.8%

■男性20代 8.9% ■女性20代 7.%

### 【地方都市圏（県庁所在地）で働きたいと思うようになった】

■全体 2.8%

■女性10代 7.9% ■男性10代 6.1%

## **【2】 コロナ感染症拡大によって、会社役員・自営業・農業従事者の働き方に変化があったのか？**

**【対象者175名】**

**【農業50名・製造業21名】**

**9.事業への影響**

**10.新たな販路開拓への取り組み**

**【飲食業・小売業・サービス業59名】**

**11.職場の店舗、施設等で行っている感染症対策**

**【全対象者】**

**12.金銭的支援以外に求める支援（行政・地域経済団体・市民から）**

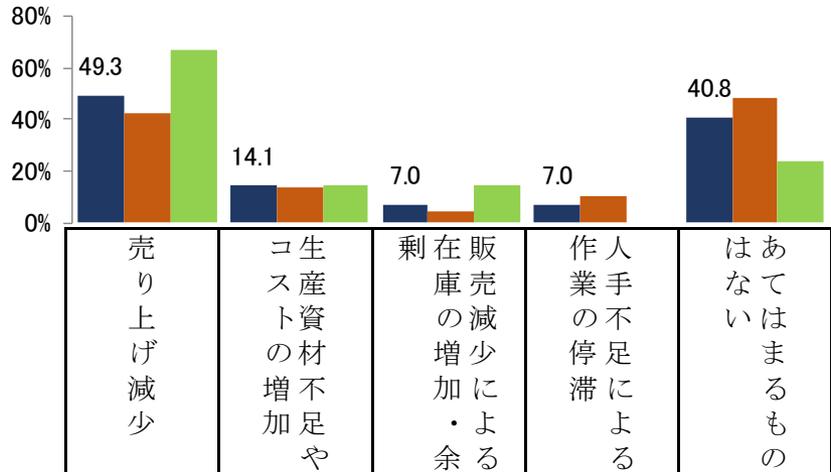
# 9.事業への影響

\*農業・製造業従事者71名・複数回答

## 【農業・製造業】

## 【売り上げ減少】

■全体 49.3% ■製造業 66.7% ■農業 42.0%



全体(n=71)	49.3	14.1	7.0	7.0	40.8
農業(n=50)	42.0	14.0	4.0	10.0	48.0
製造業(n=21)	66.7	14.3	14.3	0.0	23.8

# 10.新たな販路開拓への取り組み\*農業・製造業従事者71名・複数回答

## 【新たな販路開拓を行った】

■全体 11.3%

■製造業 14.3% ■農業 10.0%

■男性 18.9% ■男性30代 28.6%

## 【新たな販路開拓を検討し始めた】

■全体 25.4%

■製造業 33.3% ■農業 22.0%

■男性 29.7%

■女性30代 40.0% ■男性40代 35.7%

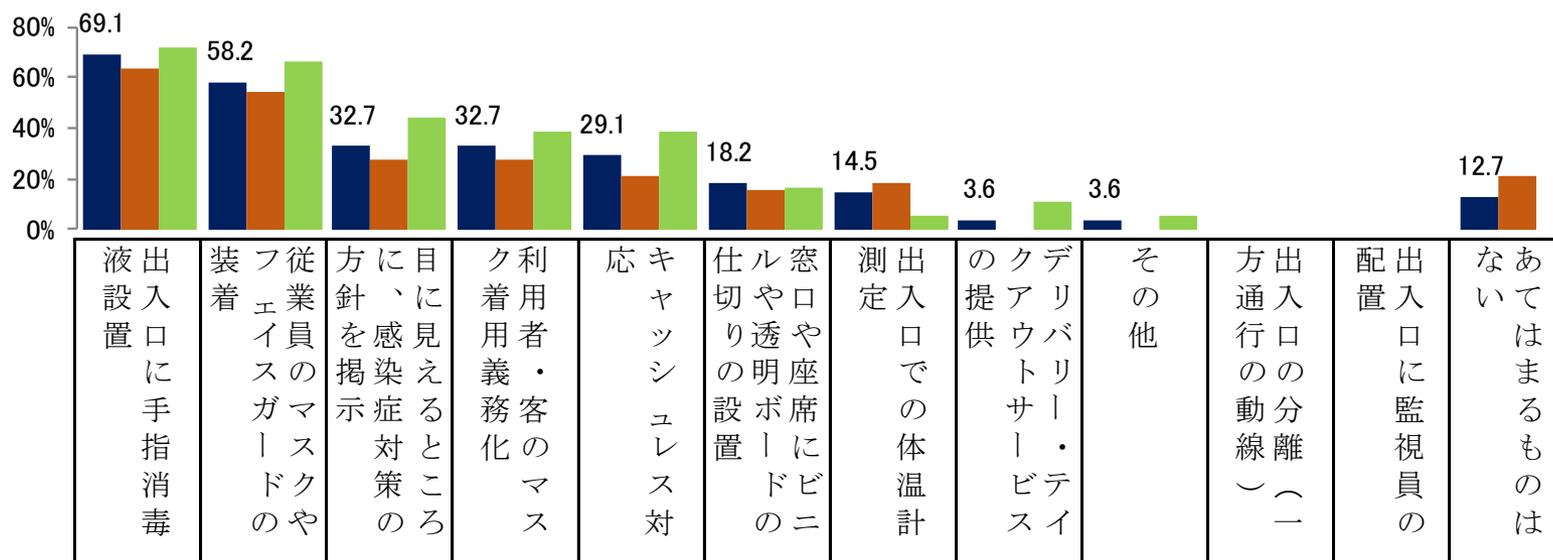
# 11.職場の店舗、施設等で行っている感染症対策

\* 飲食業・小売業・サービス業55名・複数回答

## 【性別】

【出入口に手指消毒液設置】 ■全体 54.3%

【キャッシュレス対応】 ■29.1%      【仕切り設置】 ■18.2%



全体(n=55)	69.1	58.2	32.7	32.7	29.1	18.2	14.5	3.6	3.6	0.0	0.0	12.7
男性(n=33)	63.6	54.5	27.3	27.3	21.2	15.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	21.2
女性(n=18)	72.2	66.7	44.4	38.9	38.9	16.7	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0

# 12.金銭的支援以外に求める支援(行政・地域経済団体・市民から)

## 【飲食業・小売業・サービス業1】具体的な声

### ●情報公開・相談窓口

■感染者が出た場合、住所、氏名までは開示されなくて良いが地区名だけでも開示してもらえたら助かる。■感染症対策を行っている事業所(飲食店、スーパーマーケット等)の公開。■金銭的な支援に自分が該当するのかさえ分からないし申請出来るのかも分からない。■正しい情報の提供。■不安や悩みを気軽に相談できる場所を作ること。

### ●営業・マーケティング支援

■ふるさと納税の返礼品開発。■広川町内の店舗巡りでポイントを貯めて割引券などを発行する制度。■地域で使えるサービス券。町内在住者が町内に還元出来るような金券。

### ●感染防止対策

■街中の商店や役場などの施設にサーモグラフィーなどを設置して欲しい。■コロナの検査を希望する人には無償でして欲しい。■すぐ検査を受けられるシステム。■マスクなどの衛生品の支給。

## 【飲食業・小売業・サービス業2】具体的な声

### ●給付金等の支援

■病院への給付金は国が支援してくれていたが、調剤薬局に対する支援はまったくなかった。地域の為に、コロナ疑いの患者などに対してリスクが大きい中、最前線に立って必死に頑張ってくれていた調剤薬局スタッフに対して広川町が評価してくれるのであれば、心が救われると思う。■定額給付金。■特別生活給付金。

### ●通信環境整備

■広い意味でのweb対応。■地元企業へのネット環境のサポート。

### ●まちづくり・施策全般

■もっと魅力的な街になるようにすれば人が集まり活性化し将来的に経済の底上げができると思う。例えば道の駅を作るとか、高田町の濃施山公園のような自然を活かした公園を作るなど。■通学路の道路拡張。防犯カメラの増設。子育て世代へのコミュニティの拡充。子どもへの教育支援の継続、拡大。

### ●その他意見

■各自治体の地域で事業を支援する力をつけて行くようにしたらいい。  
■広川町独自の支援策がなかった事が残念。周りの市の対応や支援策を見て判断していると感じた。結果、後出し。

## 【農業】具体的な声

### ●営業・マーケティング支援

■風評被害対策。■個人で飲食店などをされている方や生産者に、役に立つ支援。■農家による広川ブランドの確保。■地産地消頂きたい。■広川町商品券は地元での経済活動の活性化に役に立つと思う。■町内の生産物等積極的に販売してほしい。■広川町の農産物のアピール。わざわざでも広川に来てもらうようなイベントを考える。例えば緋村、昔の街並みを作り緋で、さるく。昔の生活の体験をさせて農家レストランをつくる。■行政主導の過密にならないイベントの開催、SNSを利用した店舗やイベントの告知。

### ●コミュニティ・人とのつながり支援・心のケア

■人と人の繋がりが希薄になった気がするので、その方が気にはなる。■見守り隊の強化。■町が小さい為、コロナ患者への詮索や差別がまだあるように思える。患者への詮索や情報管理を徹底し、感染者のケアをしてもらいたい。

### ●企業誘致

■広川町の知的財産を作り、様々な企業を広川町に誘致する。■県外の大学に進学してもまた広川町で働きたいと思える企業を誘致してほしい。大学生に給付金などの支援を考えていただきたい。

## 【農業2】具体的な声

### ●まちづくり・施策全般

■若い方々が、趣味、スポーツなどで、負担がなくできる施設が、もっとあったら良いと思います。その中で、若い方々が、働き方、知恵を出し会い、経済発展に繋がれば♪。3密は、あたりまえですが！ ■生産者直売所や道の駅建設。体力維持の為、三潴の体育館のような低価格スポーツジム建設。  
■歩行者道や自転車道を作ってほしい。お年寄りのコミュニケーション不足や、若者～中年の運動不足の解消にも役立つ安心安全な道にしてほしい。

### ●給付金等の支援

■金銭支援以外いない。国からの交付金が下りるなら規模拡大して生活貢献したい。

### ●医療・感染者支援

■医療関係のコロナ対策、コロナ感染者への配慮

## 【その他の事業者】具体的な声

### ●事業持続化支援

■八女市のように、事業者に対して給付金があるといい。■八女市の貸家補助金による中長期の影響を考えるべきではないでしょうか。■誰にでも理解できるような迅速な情報提供と支援確保の手続きと共に、特質した地域単独の支援があればいい。■飲食店関係が厳しいと思うので限られた業種でもいいので法人税の減税等。

### ●まちづくり・施策全般

■コロナが落ち着かなくても祭りなど出来る環境作り。

### ●転職支援

■転職転業などの支援

### ●その他意見

■1日も早くワクチンができることを願っている。また、インフルエンザに対するリレンザのような特効薬ができることを期待している。

■コロナで影響を受けた業種の広告を無料で掲載したり、何か応援することができたら良い。マスクも強制ではなく、「手洗いとうがいをしっかりしましょう」が良いと思います。感染することは悪ではなく周囲から後ろ指をさされることのないよう配慮することも大事だと思う(中略)。

# 【3】 広川町民は、コロナで暮らし方・行動・意識がどう変わったの？

【全対象者1266名】

- 13. 感染を防ぐための行動の変化
- 14. 「友人や知人との付き合い方」の変化
- 15. 感染症拡大の影響下において、不安に感じる事
- 16. 感染症が終息した後も習慣化しそうな事
- 17. 感染症に関して、情報を知りたいと思った際に利用する情報源
- 18. 感染症拡大期間中に自宅から参加した「有料」オンラインサービス

# 13.感染を防ぐための行動の変化

## ①他者を自宅に招くのを控えている

### 【あてはまる統合】

■全体 75.4%

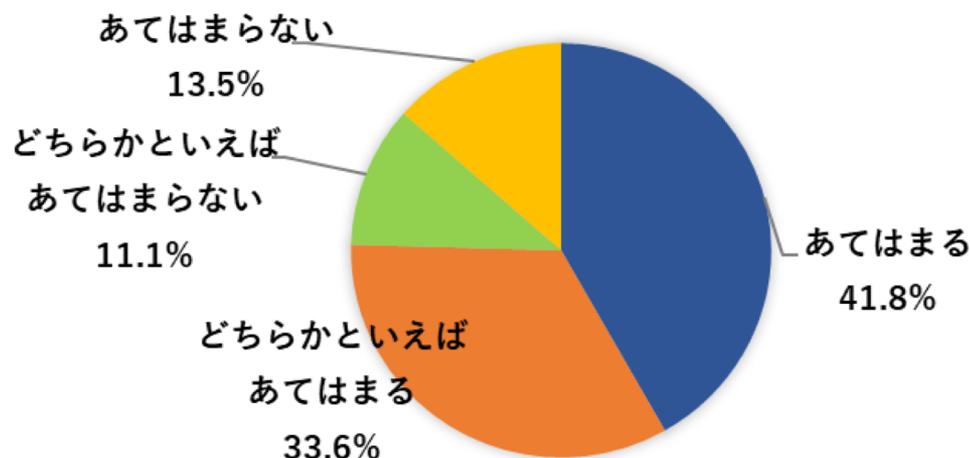
■女性 79.0%

■女性20代 87.5%

■中高生 81.3%

■居住年数3年未満 80.9%

「他者を自宅に招く」のを控えている  
(N=1266)



### 【あてはまらない統合】

■男性40代 33.1%

■男性20代 31.1%

# 13.感染を防ぐための行動の変化

## ②家族以外の人に会うのを控えている

### 【あてはまる統合】

■全体 63.7%

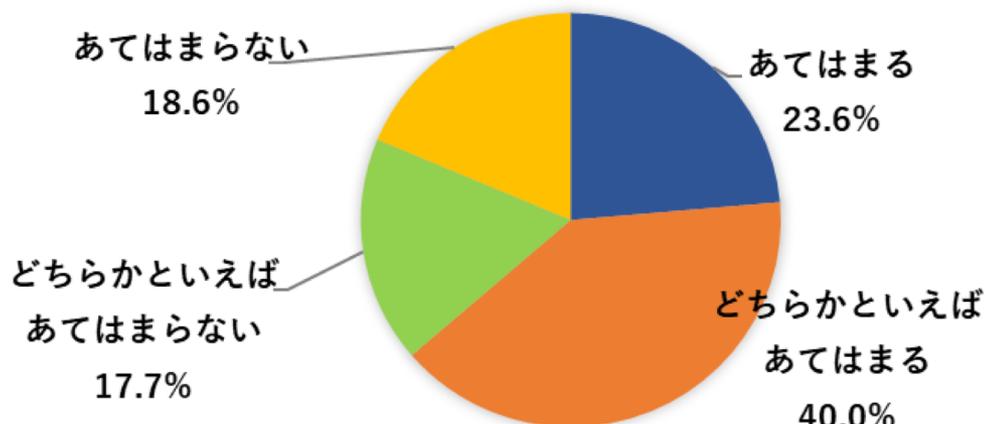
■女性 66.4%

■男性60代 75.4%

■女性50代 74.0%

■女性30代 69.3%

「家族以外の人に会う」のを控えている  
(N=1266)



### 【あてはまらない統合】

■中高生 60.4% ■高等教育の学生44.7%

# 13.感染を防ぐための行動の変化

## ③別居している家族に会うのを控えている

### 【あてはまる統合】

■全体 49.6%

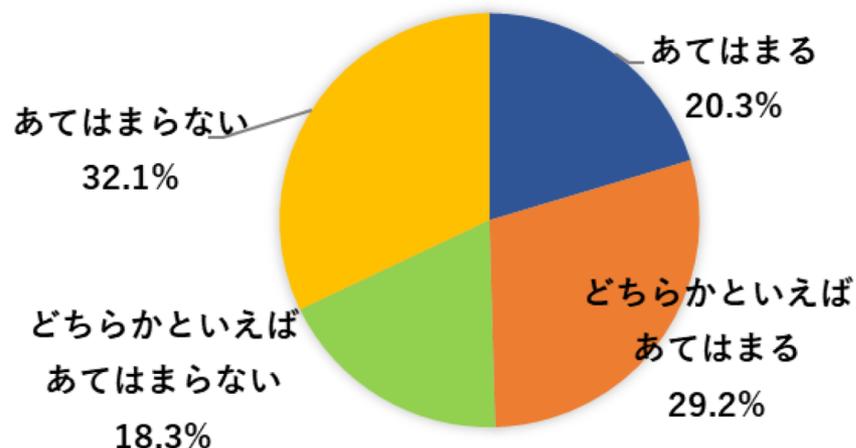
■男性60代 63.8%

■女性60代 55.2%

■女性50代 54.9%

■男性20代 53.3%

「別居している家族に会う」のを控えている  
(N=1265)



### 【あてはまる】

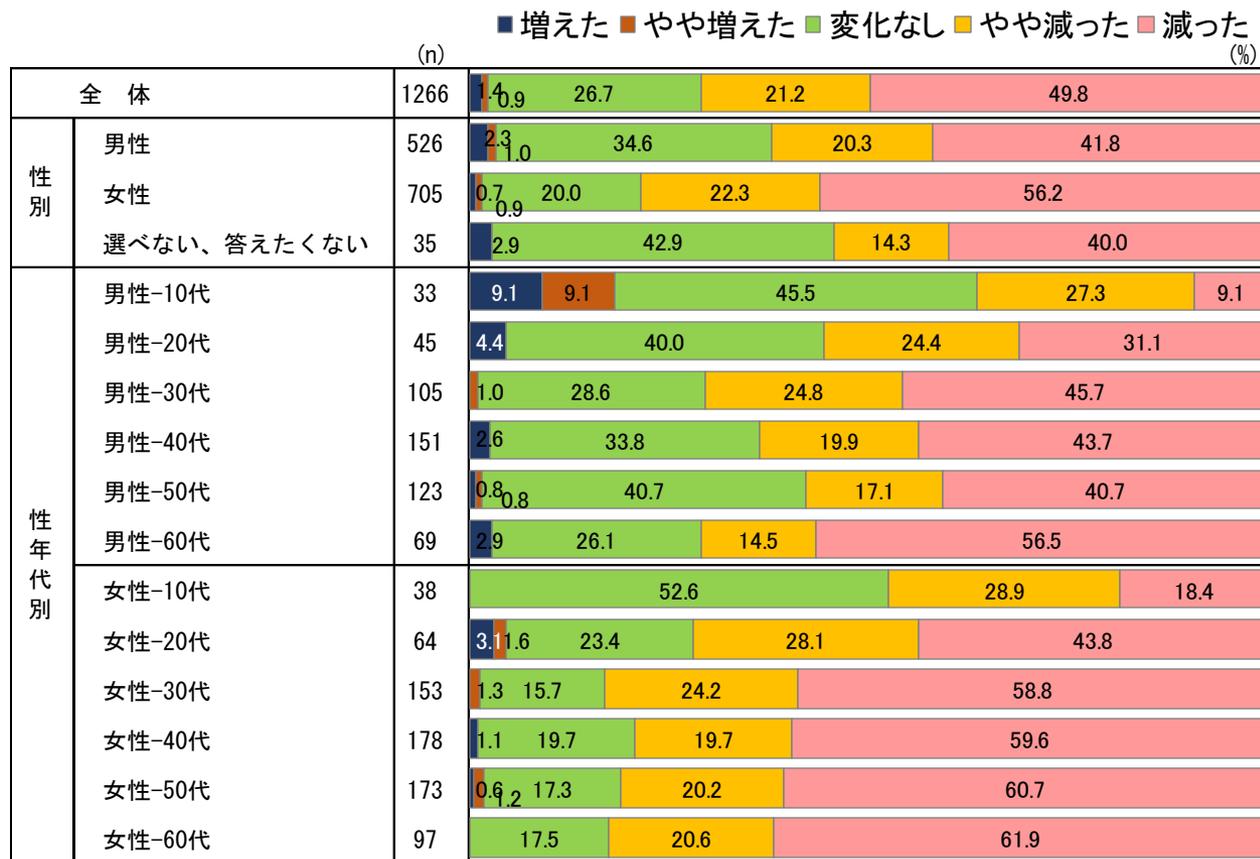
■男性20代 40.0% (18名中:10名が移住居住5年以下、10名が精神的病になりそうと不安)

# 14.「友人や知人との付き合い方」の変化

## ①直接会って、一緒に過ごす時間(仕事時間は除く)

### 【減った統合】

■全体 71.0%



■女性・小学生以上の子と同居 83.6%

■女性・未就学児と同居 79.8%

# 14.「友人や知人との付き合い方」の変化

## ②電話やメールでコミュニケーションすること(音声や文字のみ、仕事関係は除く)

### 【変化なし】

■全体 55.2%

■増えた ■やや増えた ■変化なし ■やや減った ■減った

		(n)	%				
全体		1266	13.3	21.4	55.2	4.1	6.0
性別	男性	526	11.4	16.9	63.5	2.7	5.5
	女性	705	14.6	25.0	48.8	5.4	6.2
	選べない、答えたくない	35	14.3	17.1	60.0		8.6
性年代別	男性-10代	33	27.3	24.2	45.5		3.0
	男性-20代	45	15.6	15.6	60.0	2.2	6.7
	男性-30代	105	10.5	20.0	63.8		2.9
	男性-40代	151	11.9	16.6	63.6	4.0	4.0
	男性-50代	123	4.9	13.0	72.4	3.3	6.5
	男性-60代	69	13.0	17.4	58.0		11.6
	女性-10代	38	21.1	31.6	47.4		
	女性-20代	64	25.0	21.9	48.4	3.1	1.6
	女性-30代	153	18.3	21.6	51.0	5.2	3.9
	女性-40代	178	12.4	23.6	51.1	4.5	8.4
	女性-50代	173	12.1	25.4	46.8	8.1	7.5
	女性-60代	97	8.2	29.9	46.4	6.2	9.3

### 【減った統合】

■直接会って一緒に過ごす時間が減少した人 13.5%

# 14.「友人や知人との付き合い方」の変化

## ③写真や動画を用いてコミュニケーションすること

### 【変化なし】

■全体 70.1%

■増えた ■やや増えた ■変化なし ■やや減った ■減った (n) (%)

全体		(n)	増えた	やや増えた	変化なし	やや減った	減った	(%)
全体		1266	8.1	14.8	70.1	2.2	4.7	
性別	男性	526	7.8	11.6	75.5	1.1	4.0	
	女性	705	8.4	17.2	66.0	3.1	5.4	
	選べない、答えたくない	35	8.6	14.3	74.3		2.9	
性年代別	男性-10代	33	12.1	24.2	60.6		3.0	
	男性-20代	45	8.9	13.3	68.9	2.2	6.7	
	男性-30代	105	6.7	11.4	77.1		2.9	
	男性-40代	151	7.9	9.9	78.1		4.0	
	男性-50代	123	4.9	6.5	84.6		0.8	
	男性-60代	69	11.6	17.4	62.3	1.4	7.2	
	女性-10代	38	18.4	18.4	60.5		2.6	
	女性-20代	64	15.6	17.2	62.5		3.6	
	女性-30代	153	11.8	17.6	60.8		4.6	5.2
	女性-40代	178	5.1	11.2	74.7		2.2	6.7
	女性-50代	173	4.6	23.1	64.2		2.3	5.8
	女性-60代	97	7.2	14.4	67.0		5.2	6.2

### 【減った統合】

■電話・メールのコミュニケーションが減少した人 55.5%

# 14.「友人や知人との付き合い方」の変化

## ④オンラインゲームや配信コンテンツ鑑賞を一緒に楽しむこと

### 【変化なし】

■全体 72.0%

■増えた ■やや増えた ■変化なし ■やや減った ■減った (n) (%)

		(n)	%				
			増えた	やや増えた	変化なし	やや減った	減った
全体		1265	11.1	13.1	72.0	0.3	3.5
性別	男性	526	10.3	12.5	73.2	0.4	3.6
	女性	704	11.5	13.9	70.9	0.3	3.4
	選べない、答えたくない	35	14.3	5.7	77.1		2.9
性年代別	男性-10代	33	27.3	21.2	48.5		3.0
	男性-20代	45	20.0	20.0	53.3		6.7
	男性-30代	105	14.3	20.0	63.8		1.0
	男性-40代	151	9.3	10.6	76.2		4.0
	男性-50代	123	4.9	4.1	87.8		0.8
	男性-60代	69	1.4	11.6	79.7		7.2
	女性-10代	38	15.8	23.7	60.5		
	女性-20代	64	20.3	9.4	67.2		3.1
	女性-30代	153	15.0	18.3	65.4		1.3
	女性-40代	178	12.9	14.6	66.9	0.6	5.1
	女性-50代	173	7.5	11.0	77.5	0.6	3.5
	女性-60代	96	3.1	8.3	83.3		5.2

### 【減った統合】

■一緒に過ごす時間・電話メール・写真動画減少した人 37.7%

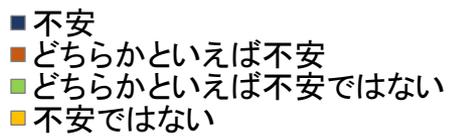
各母数：直接会って一緒に過ごす時間、電話やメールでコミュニケーション、写真・動画でコミュニケーションの全てが減少した人69

# 15.感染症拡大の影響下において、不安に感じること

## ①自分や家族が感染し長期的な健康が損なわれること

### 【不安】

■全体 59.1%



		(n)	(%)			
全体		1266	59.1	32.1	4.0	4.7
性別	男性	526	52.5	34.4	6.7	6.5
	女性	705	63.5	31.1	2.3	3.1
	選べない、答えたくない	35	68.6	20.0		11.4
性年代別	男性-10代	33	33.3	24.2	15.2	27.3
	男性-20代	45	68.9	22.2	4.4	4.4
	男性-30代	105	58.1	32.4	6.7	2.9
	男性-40代	151	51.0	36.4	6.6	6.0
	男性-50代	123	51.2	38.2	4.9	5.7
	男性-60代	69	47.8	39.1	7.2	5.8
	女性-10代	38	52.6	34.2	10.5	2.6
	女性-20代	64	67.2	26.6		4.76
	女性-30代	153	67.3	28.1	1.3	3.3
	女性-40代	178	68.5	25.8	0.6	5.1
	女性-50代	173	56.1	39.3	2.3	2.3
	女性-60代	97	63.9	32.0	2.1	2.1

■居住3年未満 68.5%

# 15.感染症拡大の影響下において、不安に感じること

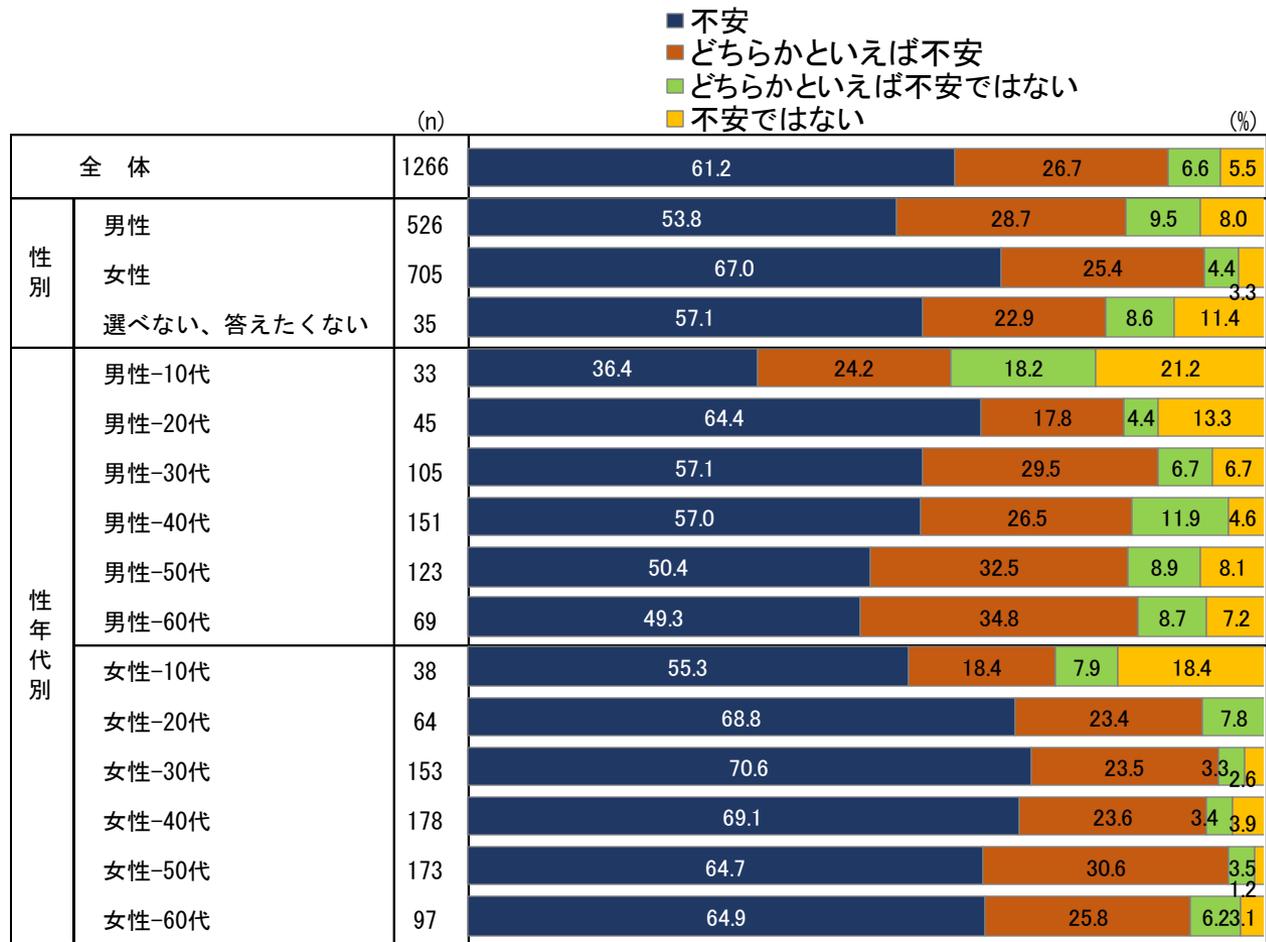
## ②自分や家族が感染することで差別的な扱いを受けるかもしれないこと

### 【不安】

■全体 61.2%

■非正規雇用 67.6%

■居住3年未満 67.4% ■上広川 65.5%

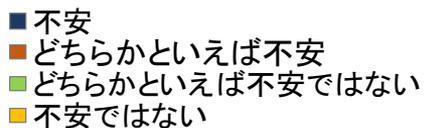


# 15.感染症拡大の影響下において、不安に感じること

## ③人間関係が悪くなること、争いやもめごとが起きること

### 【不安】

■全体 44.9%



		(n)	(%)			
全 体		1266	44.9	36.1	9.8	9.2
性 別	男性	526	40.9	35.2	11.4	12.5
	女性	705	47.8	37.6	8.2	6.4
	選べない、答えたくない	35	45.7	20.0	17.1	17.1
性 年 代 別	男性-10代	33	30.3	18.2	27.3	24.2
	男性-20代	45	57.8	13.3	6.7	22.2
	男性-30代	105	48.6	32.4	8.6	10.5
	男性-40代	151	37.7	41.7	11.3	9.3
	男性-50代	123	36.6	39.0	12.2	12.2
	男性-60代	69	37.7	40.6	10.1	11.6
	女性-10代	38	39.5	36.8	10.5	13.2
	女性-20代	64	54.7	32.8	9.4	3.1
	女性-30代	153	53.6	34.6	5.9	5.9
	女性-40代	178	41.0	43.3	5.6	10.1
	女性-50代	173	49.7	35.3	11.0	4.0
	女性-60代	97	46.4	39.2	10.3	4.1

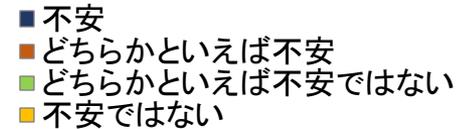
■要介護者と同居 51.5%

# 15.感染症拡大の影響下において、不安に感じること

## ④子供の教育・学力に影響がでること

### 【不安】

■全体 40.5%



		(n)	(%)			
全 体		1266	40.5	30.8	8.1	20.5
性別	男性	526	38.2	30.4	9.5	21.9
	女性	705	41.8	31.8	7.1	19.3
	選べない、答えたくない	35	48.6	17.1	8.6	25.7
性年代別	男性-10代	33	24.2	33.3	12.1	30.3
	男性-20代	45	44.4	15.6	6.7	33.3
	男性-30代	105	50.5	24.8	9.5	15.2
	男性-40代	151	42.4	30.5	10.6	16.6
	男性-50代	123	30.1	32.5	8.1	29.3
	男性-60代	69	27.5	43.5	10.1	18.8
	女性-10代	38	31.6	39.5	2.6	26.3
	女性-20代	64	39.1	28.1	10.9	21.9
	女性-30代	153	49.7	28.8	8.5	13.1
	女性-40代	178	50.0	28.7	6.2	15.2
	女性-50代	173	34.1	34.7	7.5	23.7
	女性-60代	97	35.1	36.1	5.2	23.7

■18歳未満の子と同居 60.6%

# 15.感染症拡大の影響下において、不安に感じること

## ⑤ 孤独やストレスから精神的な病になりそうなこと

### 【不安】

■全体 26.9%

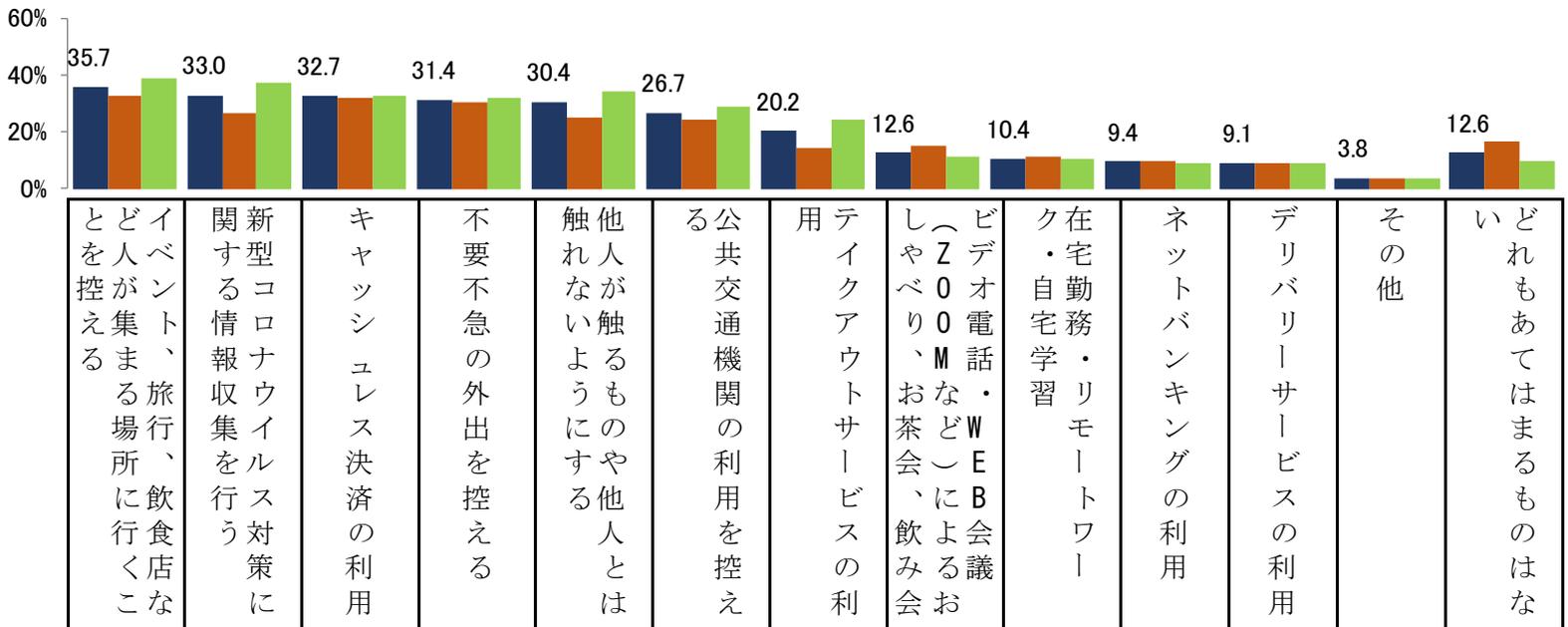
■下広川 32.6%

- 不安
- どちらかといえば不安
- どちらかといえば不安ではない
- 不安ではない

		(n)	(% )			
全 体		1266	26.9	34.9	16.7	21.6
性別	男性	526	26.2	33.1	16.2	24.5
	女性	705	27.2	36.5	16.7	19.6
	選べない、答えたくない	35	28.6	31.4	22.9	17.1
性年代別	男性-10代	33	24.2	27.3	12.1	36.4
	男性-20代	45	37.8	20.0	2.2	40.0
	男性-30代	105	30.5	27.6	16.2	25.7
	男性-40代	151	25.2	37.7	19.2	17.9
	男性-50代	123	22.0	37.4	18.7	22.0
	男性-60代	69	23.2	34.8	15.9	26.1
	女性-10代	38	28.9	36.8	10.5	23.7
	女性-20代	64	34.4	34.4	9.4	21.9
	女性-30代	153	34.6	33.3	18.3	13.7
	女性-40代	178	28.7	34.8	16.9	19.7
	女性-50代	173	20.8	39.9	20.2	19.1
	女性-60代	97	18.6	39.2	15.5	26.8

# 16.感染症が終息した後も習慣化しそうなこと\*複数回答

## 【性別・性年代】



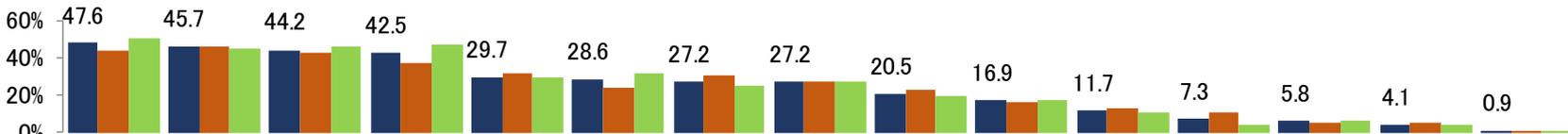
全体 (N=1265)	35.7	33.0	32.7	31.4	30.4	26.7	20.2	12.6	10.4	9.4	9.1	3.8	12.6
男性(n=526)	32.5	26.8	31.7	30.4	25.1	24.1	14.6	14.8	11.0	9.7	9.1	3.4	16.5
女性(n=704)	38.6	37.2	33.0	32.2	33.8	29.1	24.3	11.2	10.2	9.2	8.8	4.0	9.5

女性- 10代 (n=38)	36.8	13.2	18.4	23.7	28.9	7.9	23.7	26.3	31.6	0.0	18.4	2.6	13.2
女性- 30代(n=153)	36.6	34.6	42.5	30.7	31.4	38.6	34.6	13.1	12.4	12.4	8.5	3.9	9.2
女性- 40代(n=178)	43.3	39.9	36.0	29.2	37.1	28.1	27.0	9.0	11.2	8.4	10.1	3.4	7.9

# 17.感染症に関して、情報を知りたいと思った際に

## 利用する情報源\*複数回答

### 【性別・性年代】

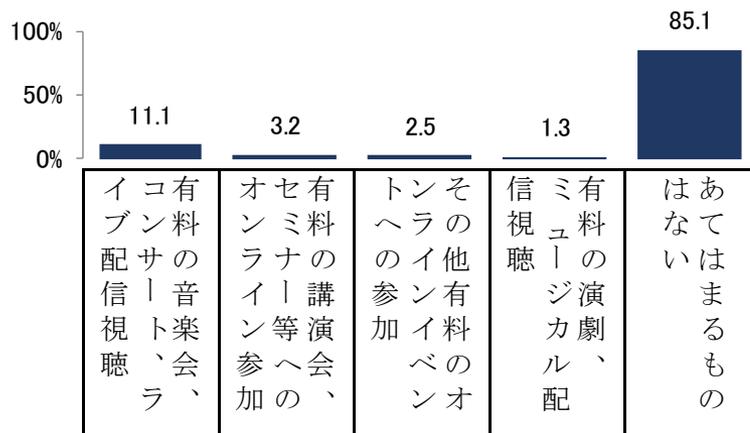


情報源	報道機関のウェブサイトや情報	LINE	YouTube	民間放送（テレビ・ラジオ等）	NHK（テレビ・ラジオ）	家族や友人、同僚などの通話や電話、SNS	労働省（内閣官房・厚生労働省）のウェブサイトや情報配信	中央政府（内閣官房・厚生労働省）のウェブサイトや情報配信	検索サイト（自分でキーワード検索）	新聞社	LINE	Twitter	YouTube	Instagram	Facebook	その他
全体 (N=1265)	47.6	45.7	44.2	42.5	29.7	28.6	27.2	27.2	20.5	16.9	11.7	7.3	5.8	4.1	0.9	
男性(n=526)	43.9	46.4	42.4	37.6	31.2	23.6	31.0	27.0	22.6	16.5	13.1	10.5	5.1	4.9	1.0	
女性(n=704)	50.6	45.0	46.1	46.5	29.2	32.1	24.8	27.4	19.4	17.4	10.8	4.7	6.4	3.7	0.7	
男性-10代(n=33)	21.2	48.5	24.2	15.2	15.2	33.3	24.2	21.2	9.1	18.2	39.4	27.3	15.2	0.0	0.0	
男性-20代(n=45)	40.0	44.4	33.3	24.4	15.6	20.0	37.8	44.4	6.7	22.2	33.3	11.1	8.9	2.2	0.0	
男性-60代(n=69)	42.0	36.2	55.1	37.7	49.3	29.0	39.1	21.7	40.6	8.7	1.4	8.7	1.4	1.4	0.0	
女性-10代(n=38)	26.3	31.6	26.3	18.4	18.4	23.7	18.4	31.6	7.9	18.4	47.4	13.2	15.8	0.0	0.0	
女性-20代(n=64)	35.9	43.8	35.9	42.2	15.6	37.5	14.1	26.6	6.3	29.7	31.3	9.4	14.1	4.7	0.0	
女性-60代(n=97)	44.3	35.1	62.9	50.5	44.3	37.1	22.7	21.6	38.1	10.3	0.0	2.1	1.0	0.0	1.0	

# 18.感染症拡大期間中に自宅から参加した「有料」

## オンラインサービス \*複数回答

【性年代・学業・テレワーク経験】



	有料の音楽配信サービス	有料のオンライン講座	その他有料のイベント参加	有料の配信視聴	有料の演劇、配信
全体(N=1265)	11.1	3.2	2.5	1.3	85.1
男性-10代(n=33)	15.2	0.0	3.0	3.0	81.8
男性-20代(n=45)	11.1	4.4	2.2	0.0	82.2
女性-10代(n=38)	34.2	0.0	2.6	5.3	60.5
女性-20代(n=64)	18.8	1.6	3.1	3.1	76.6
女性-30代(n=153)	14.4	3.3	3.9	2.6	81.7
中高生(n=48)	20.8	0.0	4.2	2.1	72.9
高等教育の学生(n=38)	23.7	0.0	0.0	5.3	76.3
テレワーク経験者(n=135)	14.1	8.9	4.4	3.0	78.5

## **【4】 広川町民の結婚・子育て・介護にどのような影響がみられたの？**

### **【既婚者以外425名】**

#### **19.結婚への関心の変化**

### **【親の立場で子育てする18歳未満の子どもと同居477名】**

#### **20.家事・育児・教育への向き合い方などの意識変化**

#### **21.今後利用してみたい家事・育児・教育支援サービス**

### **【介護を要する方と同居100名】**

#### **22.それまで受けてきた介護サービスが利用できなくて困った経験**

#### **21.今後利用してみたい介護サービス**

# 19.結婚への関心の変化\*既婚者以外

## 【関心が高くなった統合】

■全体 15.3%

- 関心が高くなった
- 関心がやや高くなった
- 変わらない
- 関心がやや低くなった
- 関心が低くなった

		(n)	(%)				
全体		425	5.9	9.4	79.8	2.1	2.8
性別	男性	183	6.0	12.0	78.1	3.3	0.5
	女性	227	5.7	7.5	81.9	1.3	3.5
	選べない、答えたくない	15	6.7	6.7	66.7		20.0
性年代別	男性-10代	33	3.0	0.1	90.9		
	男性-20代	37	10.8	5.4	83.8		
	男性-30代	40	2.5	15.0	77.5		5.0
	男性-40代	41	9.8	17.1	68.3		4.9
	男性-50代	23	4.3	13.0	78.3		4.3
	男性-60代	9		22.2	55.6		11.1
	女性-10代	37	5.4	5.4	86.5		2.7
	女性-20代	41	9.8	4.9	82.9		2.4
	女性-30代	42	9.5	11.9	71.4		4.8
	女性-40代	46	2.2	8.7	84.8		4.3
	女性-50代	31	6.5	9.7	77.4		3.2
	女性-60代	29	3.4		89.7		6.9

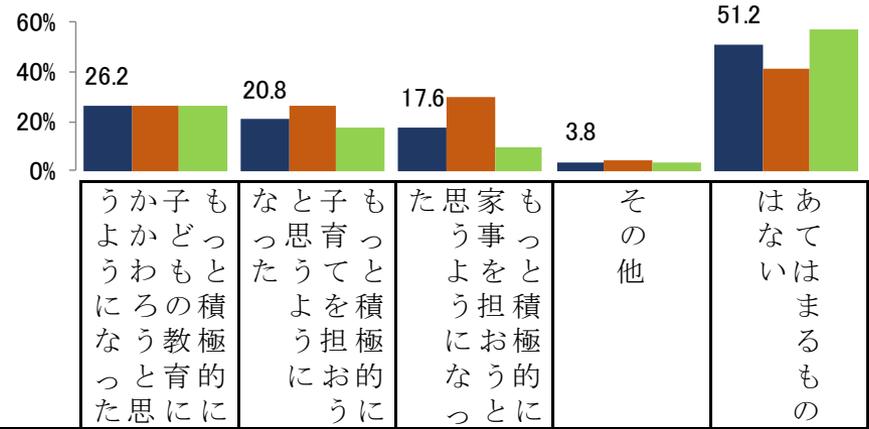
■上広川 20.0% ■未婚・非婚 16.9%

# 20.家事・育児・教育への向き合い方などの意識変化 \*18歳未満同居

## 【もっと子どもの教育にかかわろう】

■全体 26.2%

■男性50代 0%



	子どもがもっと勉強するのをサポートする	子どもがもっと勉強するのを極める	家も学校も一緒に頑張る	その他	あてはまるものはない
全体 (n=477)	26.2	20.8	17.6	3.8	51.2
男性(n=185)	26.5	26.5	29.7	4.3	41.1
女性(n=281)	26.7	17.4	10.0	3.2	56.9
男性- 20代(n=7)	28.6	57.1	42.9	0.0	28.6
男性- 30代(n=54)	24.1	31.5	37.0	9.3	27.8
男性- 40代(n=94)	33.0	27.7	27.7	2.1	40.4
男性- 50代(n=23)	0.0	4.3	17.4	4.3	73.9
女性- 20代(n=19)	10.5	15.8	21.1	5.3	63.2
女性- 30代(n=101)	29.7	17.8	10.9	1.0	55.4
女性- 40代(n=121)	26.4	15.7	5.8	5.8	58.7
女性- 50代(n=36)	30.6	19.4	13.9	0.0	55.6
男性未就学児の親 (n=81)	27.2	35.8	27.2	6.2	37.0
女性未就学児の親 (n=129)	25.6	23.3	10.9	3.1	55.0
男性小学生以上の親 (n=104)	26.0	19.2	31.7	2.9	44.2
女性小学生以上の親 (n=152)	27.6	12.5	9.2	3.3	58.6

# 21. 今後利用してみたい家事・育児・教育支援サービス

## 【18歳未満の子と同居する親】具体的な声

### ●男性・未就学児と同居(年齢順)

年齢	利用してみたい家事・育児・教育支援サービス
29	食材の移動販売
33	見守りサービス
35	育児給付金が欲しい
36	リモート教育や他県でしている、運動会や発表会などの、リモート配信
37	テレワークが普及するのならば、子供を海外の学校とネットを通じた、触れ合い歴史の授業を行えば良いのではないか。
39	学童保育
40	Go To の普及
41	教育支援として配信サービスなどを利用した自宅学習できるようなツール
41	申請の要らない支援金。
41	保育園のイベントが縮小されるのは、思い出作りとしては残念に思うが、教育支援よりも医療支援を優先させ、インフルエンザ対策や医療体制の構築を促進希望。
42	アスレチック遊具の公園
42	預かり。
49	保育園の長時間保育

### ●性別無回答・未就学児と同居

35	道路を広げて歩道とガードレールをつけて欲しい。あとはそれから。
----	---------------------------------

## ●女性・未就学児と同居(年齢順)

年齢	利用してみたい家事・育児・教育支援サービス
24	生協等
29	宅配サービス・家事代行サービス・ファミリーサポート
30	食材や日用品を配達してくれるサービス。
31	感染予防対策をしっかりしたイベント(小さいものから大きなものまで)
33	産前産後ヘルパー、陣痛タクシー
34	習い事を自宅でできるものを取り入れた。(ディズニー英会話)コストと親の手間がかかるのはデメリット。
34	ウーバーイーツ
36	日曜祝日の保育
36	無料の短時間託児サービス
36	教育格差をなるべく減らしたいので、タブレット端末などで学習・体験するサービス
37	料理をテイクアウトにし極力子育て時間にまわしたいと思った。
38	教育支援
38	学校が休校になって学童保育が時短になったりしたら仕事に支障が出るので、今までと変わらない時間働けるように預かり場所を確保して欲しい。
38	教育支援など、あれば活用したいが何が行われているのか、わかりません。
40	学業のリモート化
40	病児保育、ファミリーサポート
41	ハグハグなどの施設
42	PCやタブレット等で、自宅学習のサポート(本人の理解力にあわせて学習計画を立てたり等、家庭教師的なサポート)をしてくれるサービス。
44	家事代行サービス
45	保育園や学校-学童保育が休みのときに、安心して子育てできるサービス。安心して休める休暇制度。
45	通信教育
62	ネット環境での教育。食材の宅配。食品のテイクアウト。

## ●男性・小学生以上の子と同居(年齢順)

年齢	利用してみたい家事・育児・教育支援サービス
40	掃除、消毒。学校での勉強が、不安なので、教育。出前。お店がない。
40	教育支援
42	医療機関のサービス支援
42	家庭で学習できる環境を作って欲しい。
45	見守り隊
46	オンライン教育サービス
47	リモート塾
47	出会い系
48	リモートでの家庭教師など
48	補助が出るサービス
48	家事
49	研修会は既にほぼZOOM
59	オンライン授業を利用してみたいと思います。
61	通信教育

## ●性別無回答・小学生以上の子と同居

40	発達障害児に対する支援策があれば行政からもっと発信して欲しい。相談しにくく、情報を得にくい。
----	--

## ●女性・小学生以上の子と同居(年齢順)

31	オンライン授業、オンラインパン教室、オンライン親子料理教室、学校が長期休校になった場合の給食配送サービス、オンライン多国籍料理教室、広川町VR街歩き、オンライン工場見学
35	子ども達の勉強が心配です。塾や家庭教師をお願いするには金銭的に難しいので、何か学力を上げる方法があると助かります。
35	ネットスーパー等があれば助かるかなと思いました。あとオンライン授業があるとやはりいいなと思った。コロナ関係なく普段学校になじめなくても、オンライン授業があれば無理に学校に行かなくても勉強はできるので。

## ●女性・小学生以上の子と同居(年齢順)

年齢	利用してみたい家事・育児・教育支援サービス
36	子供の学力低下が懸念されるので塾等を考えている
36	学校の使っていない教室などを利用して習字や将棋など本格的では無くていいので簡単な習い事ができたらいいと思う。
39	宅配サービス。習い事も、リモートでして欲しい。小学校も、お休みではなくリモート、YouTubeでの受講ノルマ項目など有ればいいと思う。授業が送れないためにも。
39	休学中に個別で取り組める学習教材
41	育児は外出制限や感染予防のために外で人がすくない自然の中での遊びの施設
41	オンライン授業
42	ICT教育
42	オンラインでの授業。
45	家事代行
45	オンライン授業
46	上広川地区にはスーパーも食事をするところもない。宅配サービスなども少ない。高齢者が多い地域なので車に乗れなくても買い物へ行ける店があると良い。
46	食材の定期配送サービス。献立が決まっているだけでも負担が少ない。食費も管理しやすく栄養のかたよりも少ないのではないか？
47	食材の宅配
47	小学校行事が削減され、運動量が減っているので、体力アップの教育支援をお願いしたい。
48	家庭教師
48	家事(料理に関する事)
50	子育て支援金
50	同居する義母に介護サービスを利用したい
51	教育支援サービス！義務教育だけではなく高校生、専門学生、大学生も考えてほしい！
52	オンライン学習
53	家事は家政婦さんに頼み 自分はもっと子育てや仕事を優先したい。
55	オンライン授業

# 22.それまで受けてきた介護サービスが利用できなくて

## 【受けられなくて困った】

**困った経験** \*介護を要する人と同居

■全体 16.0%

■受けられなくなって困った  
 ■受けられなくなったが困らなかった  
 ■もともとサービスは受けていなかった (%)

		(n)	%		
全 体		100	16.0	36.0	48.0
性別	男性	45	17.8	26.7	55.6
	女性	53	13.2	43.4	43.4
	選べない、答えたくない	2	50.0	50.0	
性年代別	男性-10代	2		100.0	
	男性-20代	6	33.3	16.7	50.0
	男性-30代	2	50.0		50.0
	男性-40代	9	22.2	22.2	55.6
	男性-50代	17	11.8	23.5	64.7
	男性-60代	9	11.1	33.3	55.6
	女性-10代	1		100.0	
	女性-20代	4		50.0	50.0
	女性-30代	7		42.9	57.1
	女性-40代	6	16.7	66.7	16.7
	女性-50代	22	13.6	40.9	45.5
女性-60代	12	25.0	33.3	41.7	

■自営業・農業

・会社などの役員

31.6%

■テレワーク以外の働き方経験者 27.8%

各母数：自営業・農業16+会社役員3=19、テレワーク以外の働き方経験者18

# 23. 今後利用してみたい介護サービス

## 【介護を要する方と同居】具体的な声

### ● 男性（年齢順）

利用してみたい介護サービス	年齢	校区
それよりも、アクセルとかの踏み間違いで事故を起こしたり、逆走したりしてるから、公共交通機関のサービスをすすんで欲しい。	18	中広川
訪問看護をただでやってもらいたい。	47	中広川
通院同伴・補助、家事支援。しかし、資金がゼロ。	49	中広川
巡回見守り	52	中広川
病院や買い物への、付き添えなど	52	中広川
ショートステイ	62	中広川
介護とは、直接関係あるとは思えませんが、買い物代行サービスなどは将来的には利用させてもらいたいです。	63	下広川
現状の週2回のデイケアがあればいい。	63	上広川

## ●女性（年齢順）

利用してみたい介護サービス	年齢	校区
在宅介護サービス	32	中広川
デイケア	34	中広川
家庭での介護を行ううえで出来る簡単感染対策と負担軽減出来る用具の提供。 事前申請により職場からの援助システムの構築(資金面、時間面等)	35	上広川
義母は目が見えないので、私が留守にするときなど食事提供サービスを受けれると良い。	46	上広川
ショートステイ	48	中広川
今までどうりのサービスが受けられればそれでいいです。	50	上広川
デイ・ケアサービス	50	下広川
デイサービスも利用されたし。現在、入院中です。	50	中広川
訪問看護、ヘルパー	52	中広川
今までの介護サービスでいい	53	中広川
デイケア	54	上広川
デイサービス	57	上広川
自宅におけるリハビリ	57	上広川
ショートステイ	58	中広川
訪問看護、リハビリ	60	中広川
体の不自由な高齢の親と同居しているので訪問介護を利用したい。	60	中広川
デイサービス	61	中広川
介護サービスを受けるようになりました。コロナとは直接関係はないですが…	62	中広川
両親がお世話になってるデイは、休みにならずに助かりました。のでありません	63	中広川
お泊まり	64	下広川
今、うけてるサービスで、満足してます。今後、寝たきりになったら入浴サービスをう けたいです。	64	上広川

# 【5】 広川町の学生たちの学習・就職に対する意識は変わったの？

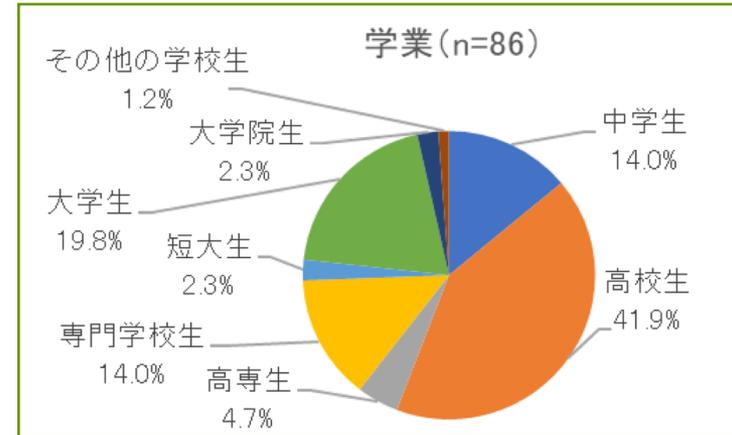
【対象者86名】

## 24.教育・学習に関する意識の変化

【意識に変化があった35名】

## 25.変化の内容(重要なもの3つまで)

【対象者全員86名】



## 26.自分の将来の職業選択に対する考え方への変化

【進学希望者42名】

## 27.進学先の希望地域・第一希望

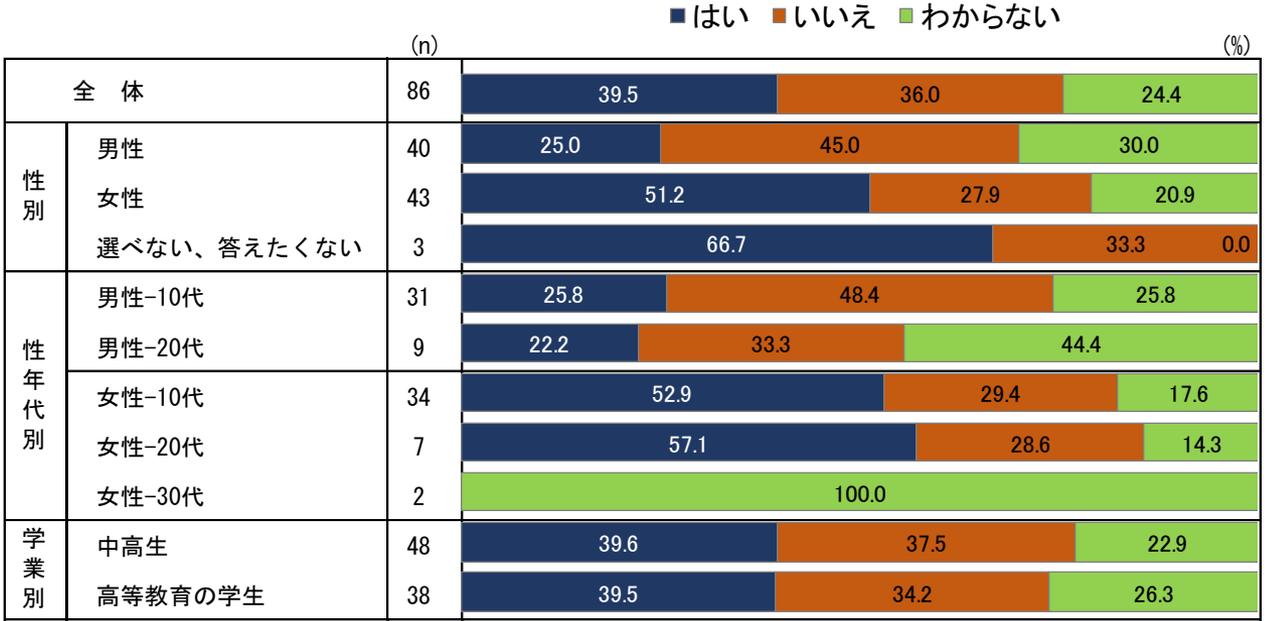
【就職希望者33名】

## 28.就職先の希望地域・第一希望

# 24.教育・学習に関する意識の変化\*学生

## 【はい、変化した】

■全体 39.5%



## 【いいえ、変化しなかった】

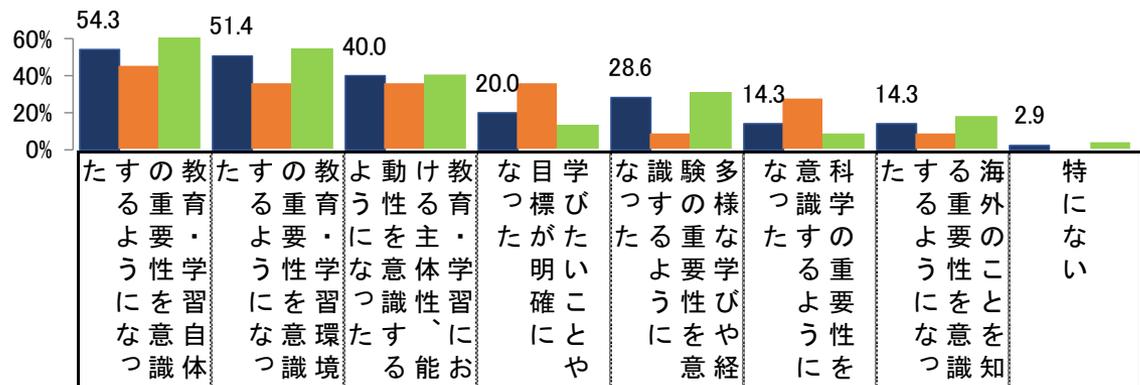
■全体 36.0%

■上広川 77.8%

# 25.変化の内容 (重要な順に3つまで)\*意識が変化した学生

## 【教育・学習自体の重要性を意識するようになった】

■全体 54.3%



全体 (n=35)	54.3	51.4	40.0	20.0	28.6	14.3	14.3	2.9
男性(n=11)	45.5	36.4	36.4	36.4	9.1	27.3	9.1	0.0
女性(n=22)	63.6	54.5	40.9	13.6	31.8	9.1	18.2	4.5
男性-10代(n=8)	62.5	25.0	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0
男性-20代(n=3)	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0
女性-10代(n=18)	72.2	55.6	44.4	16.7	27.8	5.6	16.7	5.6
女性-20代(n=4)	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
中高生 (n=19)	63.2	47.4	31.6	21.1	21.1	10.5	10.5	5.3
高等教育の学生(n=16)	43.8	56.3	50.0	18.8	37.5	18.8	18.8	0.0

(人)	1位	2位	3位
教育・学習自体の重要性を意識するようになった	16	2	1
教育・学習環境の重要性を意識するようになった	10	5	3
教育・学習における主体性、能動性を意識するようになった	1	9	4
学びたいことや目標が明確になった	2	3	1
多様な学びや経験の重要性を意識するようになった	4	2	3
科学の重要性を意識するようになった	0	1	3
海外の重要性を知ることになった	0	2	2

# 26.自分の将来の職業選択に対する考え方への変化\*学生

## 【人と触れ合いながら働ける仕事に就きたい】

■全体 20.9%



全体 (n=86)	20.9	17.4	15.1	14.0	11.6	9.3	7.0	0.0	3.5	39.5
男性(n=40)	17.5	10.0	10.0	22.5	5.0	12.5	7.5	0.0	2.5	45.0
女性(n=43)	25.6	20.9	20.9	7.0	16.3	7.0	7.0	0.0	4.7	34.9
男性- 10代(n=31)	9.7	6.5	3.2	19.4	3.2	9.7	6.5	0.0	0.0	58.1
男性- 20代(n=9)	44.4	22.2	33.3	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
女性- 10代(n=34)	20.6	17.6	23.5	2.9	14.7	8.8	2.9	0.0	5.9	32.4
女性- 20代(n=7)	57.1	28.6	14.3	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	42.9
中高生 (n=48)	16.7	16.7	14.6	8.3	10.4	8.3	2.1	0.0	4.2	45.8
高等教育の学生(n=38)	26.3	18.4	15.8	21.1	13.2	10.5	13.2	0.0	2.6	31.6

# 27.進学先の希望地域・第一希望 \*進学希望学生

■中学生1位 八女市

■高校生1位 福岡市・まだ決めていない

- 八女市
- 久留米市
- 福岡市
- 八女市・久留米市・福岡市以外の県内
- 福岡県を除く九州内
- 九州外
- まだ決めていない

		(n)							(%)	
全体		42	16.7	9.5	19.0	14.3	4.8	7.1	28.6	
性別	男性	17	29.4		11.8	17.6	5.9	5.9	5.9	23.5
	女性	23	8.7	8.7	21.7	17.4	4.3	8.7	30.4	
学業別	中学生	12	58.3			8.3	8.3	8.3	16.7	
	高校生	23	4.3	30.4		13.0	4.3	13.0	30.4	
	高等教育の学生	7	14.3	28.6		14.3	42.9			

# 28.就職先の希望地域・第一希望 \*就職希望学生

■高校生1位 自宅から通勤できる

■大学生・院生1位 自宅から通えないが気軽に帰省できる

■男性1位 自宅から通勤できる

■女性1位 自宅から通えないが気軽に帰省できる

- 自宅から通勤できるところ
- 自宅から通えないが、引っ越しても気軽に広川町に帰ってこられるところ
- 自宅から遠く、引っ越したら気軽に広川町に帰ってこられないところ
- まだ決めていない
- その他

		(n)	(%)				
	全体	33	21.2	33.3	15.2	27.3	3.0
性別	男性	18	27.8	22.2	16.7	27.8	5.6
	女性	14	14.3	50.0	7.1	28.6	
学業別	高校生	9	33.3	25.0	16.7	25.0	
	専門学校生	11	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7
	大学生・院生	13	25.0	37.5		37.5	

# 【6】 広川町の住み心地は良いの？コロナで広川離れは起きないの？

【全対象者1266名】

29.広川町が好きか

30.広川町が好きな理由の分析

31.広川町は暮らしやすい町なのか

31.広川町が暮らしにくい理由の分析

32.広川町は自分らしいライフスタイルで過ごせる町と思うか

33.広川町に住み続けたいと思うか

34.広川町に「住み続けたいか」に関する気持ちの変化

35.広川町で暮らす人・訪れる人のために、何か役に立ちたいと思うか

# 29.広川町が好きか

## 【好き統合】

■全体 90.0%

■好き  
 ■どちらかといえば好き  
 ■どちらかといえば嫌い  
 ■嫌い

		(n)	%			
全体		1266	39.6	50.4	9.0	1.0
性別	男性	526	47.0	42.8	9.3	1.0
	女性	705	35.2	55.9	8.4	0.6
	選べない、答えたくない	35	17.1	54.3	17.1	11.4
性年代別	男性-10代	33	60.6	27.3	12.1	
	男性-20代	45	44.4	44.4	11.1	
	男性-30代	105	44.8	46.7	6.7	1.9
	男性-40代	151	41.7	47.7	9.3	1.3
	男性-50代	123	52.8	38.2	8.1	0.8
	男性-60代	69	46.4	40.6	13.0	
	女性-10代	38	44.7	47.4	7.9	
	女性-20代	64	45.3	54.7	0.0	
	女性-30代	153	33.3	58.8	6.5	1.3
	女性-40代	178	33.1	53.9	11.8	1.1
	女性-50代	173	30.6	57.8	11.6	
	女性-60代	97	40.2	55.7	4.1	

## 【好き】

■全体 39.6%

■生誕時より居住 55.9% ■中高生 52.1%

■居住3年以上10年未満 28.2%

各母数：生誕時より居住261、中学生48、居住3年以上10年未満234

## 30. 広川町が好きな理由 \*好きと回答統合

### ● コンセプトマッパー分析 (スプリングモデルシミュレーション)

キーワード(単語)間の関連性をバネ(スプリング)に見立てた物理モデルをシミュレーションすることによってマッピングを行う。

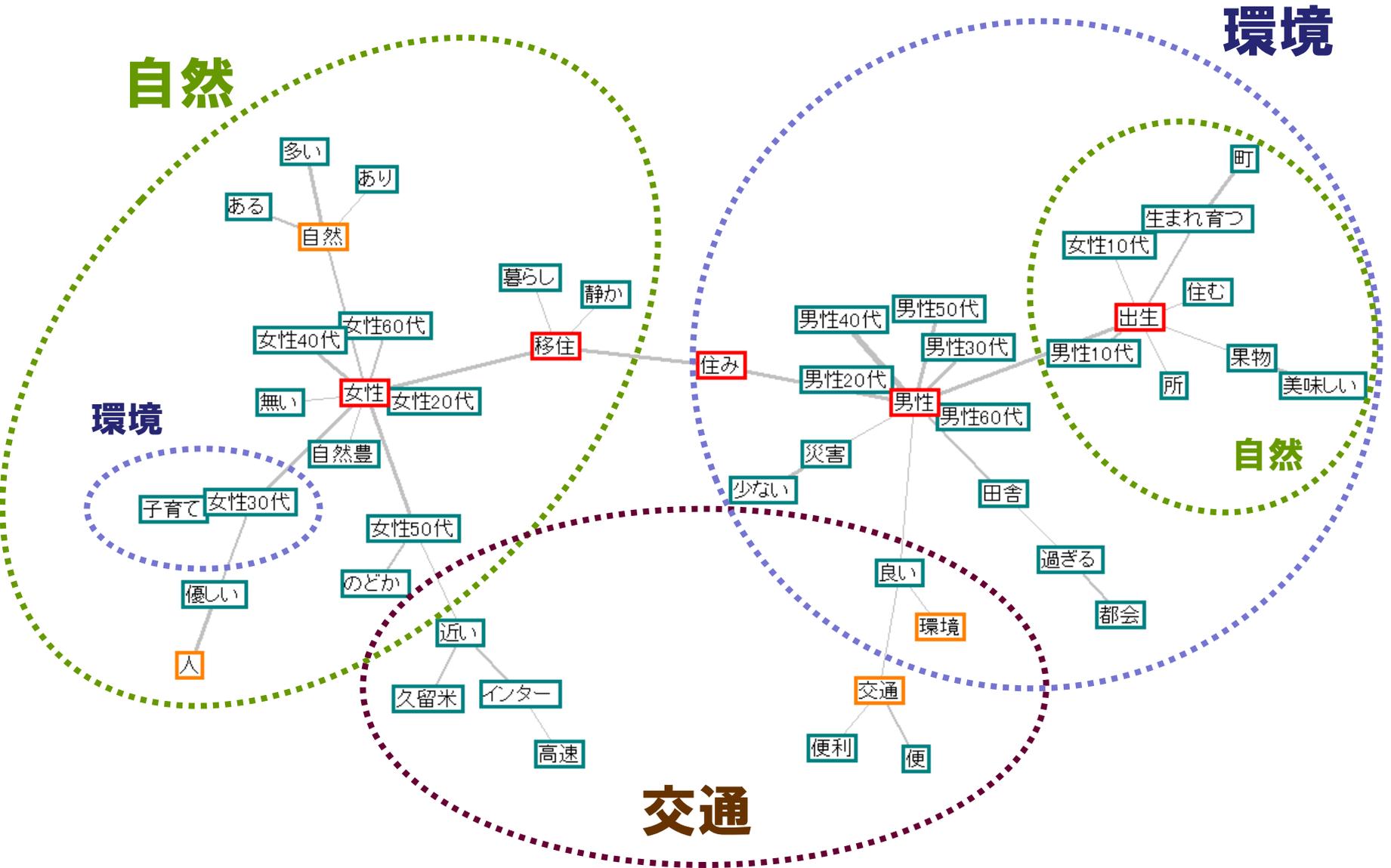
キーワードは、強いバネによって他のキーワードと引っ張り合ったり反発したりしながらダイナミックに動き、最終的に適正な場所に配置される。

関連度の高い単語は近くに、関連度の低い単語は離れて配置されるので、キーワード同士の関連が可視化される。

【トレンドサーチ2015(富士通ソフトウェアテクノロジーズ社)による自由記述キーワード分析】



# 好きな理由：性年代・出生/移住 \*テキストマイニング重要ワード



# 31. 広川町は暮らしやすいか

## 【暮らしやすい統合】

■全体 84.4%

- 暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしにくい
- 暮らしにくい

		(n)	(%)			
全体		1266	33.3	51.1	12.6	3.1
性別	男性	526	38.4	47.0	11.6	3.0
	女性	705	30.8	53.9	12.8	2.6
	選べない、答えたくない	35	5.7	57.1	22.9	14.3
性年代別	男性-10代	33	45.5	42.4	6.1	6.1
	男性-20代	45	40.0	44.4	13.3	2.2
	男性-30代	105	39.0	47.6	8.6	4.8
	男性-40代	151	31.1	51.7	15.2	2.0
	男性-50代	123	41.5	45.5	10.6	2.4
	男性-60代	69	43.5	42.0	11.6	2.9
	女性-10代	38	42.1	42.1	13.2	2.6
	女性-20代	64	40.6	53.1	6.3	
	女性-30代	153	26.8	58.8	9.2	5.2
	女性-40代	178	27.5	53.9	15.2	3.4
	女性-50代	173	29.5	50.9	19.1	0.6
女性-60代	97	35.1	56.7	7.2	1.0	

## 【暮らしやすい】

■全体 33.3%

■男性・小学生以上の子と同居 43.3%(同女性:24.3%)

■居住3年以上10年未満 23.1%

各母数: 男性小学生以上子どもと同居104(女性152)、居住3年以上10年未満234

## 32. 広川町が暮らしにくい理由 \*暮らしにくいと回答統合

### ●コンセプトマッパー分析 (スプリングモデルシミュレーション)

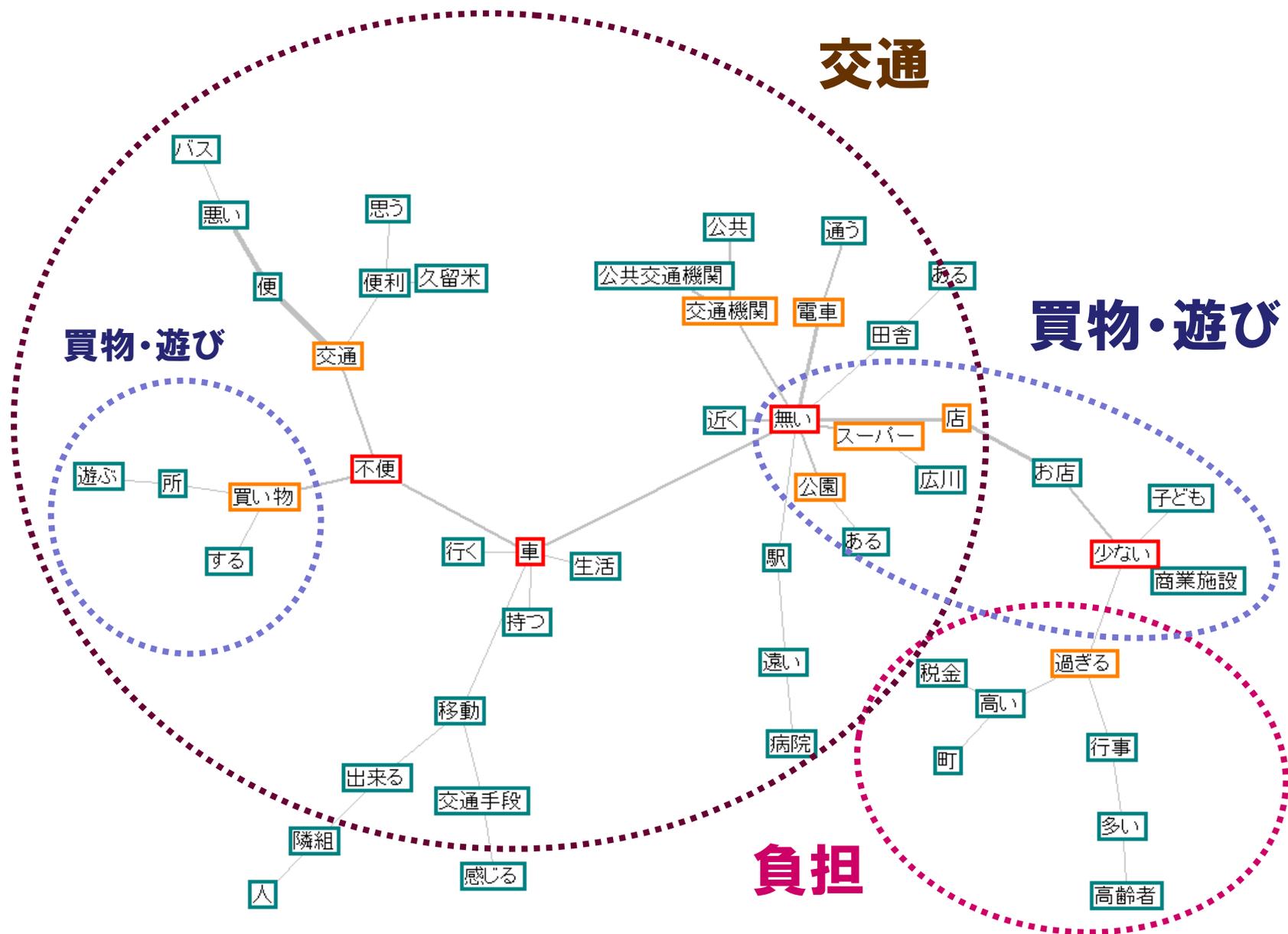
キーワード(単語)間の関連性をバネ(スプリング)に見立てた物理モデルをシミュレーションすることによってマッピングを行う。

キーワードは、強いバネによって他のキーワードと引っ張り合ったり反発したりしながらダイナミックに動き、最終的に適正な場所に配置される。

関連度の高い単語は近くに、関連度の低い単語は離れて配置されるので、キーワード同士の関連が可視化される。

【トレンドサーチ2015(富士通ソフトウェアテクノロジーズ社)による自由記述キーワード分析】

# 暮らしにくい理由 \*テキストマイニング重要ワード





# 33.広川町は自分らしいライフスタイルで過ごせる町と思うか

## 【自分らしく過ごせる統合】

■全体 83.3%

- 自分らしく過ごせる
- どちらかといえば自分らしく過ごせる
- どちらかといえば自分らしく過ごせない
- 自分らしく過ごせない

		(n)	(%)			
全 体		1266	24.3	59.0	13.0	3.6
性別	男性	526	30.5	53.5	12.8	3.2
	女性	705	20.0	64.1	12.3	3.5
	選べない、答えたくない	35	20.0	37.1	31.4	11.4
性年代別	男性-10代	33	51.5	42.4		6.1
	男性-20代	45	36.4	50.0	13.6	
	男性-30代	105	33.3	47.6	15.2	3.8
	男性-40代	151	23.2	57.0	16.6	3.3
	男性-50代	123	28.5	56.9	11.4	3.3
	男性-60代	69	31.9	56.5	8.7	2.9
	女性-10代	38	26.3	55.3	15.8	2.6
	女性-20代	64	35.9	57.8		6.3
	女性-30代	153	17.0	62.7	15.0	5.2
	女性-40代	178	16.3	66.9	13.5	3.4
	女性-50代	173	15.6	65.9	14.5	4.0
	女性-60代	97	26.8	66.0		5.2

## 【自分らしく過ごせる】

■全体 24.3%

■男性・小学生以上の子と同居 36.5%(同女性:14.5%)

# 34.広川町に住み続けたいと思うか

## 【住み続けたい統合】

■全体 69.2%

■中高生 50.0%

- 住み続けたい
- どちらかといえば住み続けたい
- どちらともいえない
- どちらかといえば住みたくない
- 住みたくない

		(n)	%				
全体		1266	37.5	31.6	24.6	4.6	1.7
性別	男性	526	44.6	29.1	21.3	3.4	1.5
	女性	705	33.5	34.3	25.7	5.1	1.4
	選べない、答えたくない	35	14.3	14.3	51.4	11.4	8.6
性年代別	男性-10代	33	45.5	21.2	24.2	9.1	
	男性-20代	45	31.8	29.5	34.1	4.5	
	男性-30代	105	39.0	33.3	22.9	2.9	1.9
	男性-40代	151	41.1	33.8	20.5	3.3	1.3
	男性-50代	123	50.4	28.5	16.3	4.9	
	男性-60代	69	58.0	17.4	20.3	2.9	1.4
	女性-10代	38	23.7	26.3	42.1	5.3	2.6
	女性-20代	64	28.1	42.2	26.6	3.1	
	女性-30代	153	34.6	32.0	27.5	3.9	2.0
	女性-40代	178	31.5	35.4	25.8	4.5	2.8
	女性-50代	173	31.2	35.3	25.4	8.1	
	女性-60代	97	47.4	32.0	16.5	3.1	1.0

## 【住み続けたい】

■全体 37.5%

■男性・小学生以上の子と同居 53.8%(同女性:34.2%)

■居住3年以上10年未満 24.4% ■高等教育の学生 27.0%

各母数: 中高生48, 男性小学生以上子どもと同居104(女性152)、居住3年以上10年未満234、高等教育の学生37

# 35.広川町に「住み続けたいか」に関する気持ちの変化

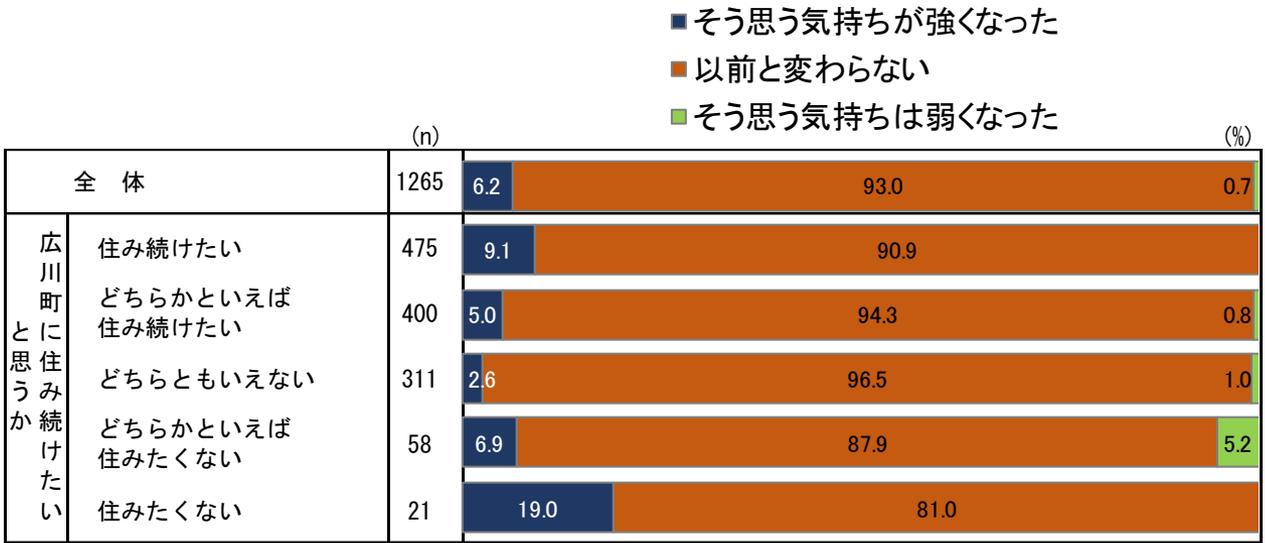
## 【以前と変わらない】

■全体 93.0%

## 【そういう気持ちが強くなった】

■全体 6.2%

■広川町に「住みたくない」人 19.0%(4名)



# 36. 広川町で暮らす人・訪れる人のために、何か役に立ちたいと思うか

【**そう思う**統合】

■ **全体 65.3%**

■ **テレワーク経験者**

**74.8%**

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

		(n)	(%)				
全体		1266	17.4	47.9	10.5	8.2	16.0
性別	男性	526	20.6	47.0	11.4	10.3	10.7
	女性	705	15.3	48.7	9.6	6.7	19.7
	選べない、答えたくない	35	11.4	45.7	14.3	8.6	20.0
性年代別	男性-10代	33	27.3	36.4	18.2	3.0	15.2
	男性-20代	45	13.6	45.5	6.8	18.2	15.9
	男性-30代	105	20.0	44.8	11.4	10.5	13.3
	男性-40代	151	19.2	46.4	13.9	11.3	9.3
	男性-50代	123	25.2	48.0	9.8	6.5	10.6
	男性-60代	69	17.4	56.5	8.7	13.0	4.3
	女性-10代	38	13.2	55.3	5.3	5.3	21.1
	女性-20代	64	26.6	28.1	10.9	6.3	28.1
	女性-30代	153	16.3	46.4	7.8	8.5	20.9
	女性-40代	178	13.5	47.8	11.8	10.1	16.9
	女性-50代	173	9.8	54.3	8.7	5.2	22.0
	女性-60代	97	20.6	54.6	10.3	1.0	13.4

【**そう思わない**統合】

■ **全体 18.7%**

■ **会社などの役員 26.5%** ■ **居住3年以上10年未満 24.4%**

各母数：テレワーク経験者135、会社などの役員34、居住3年以上10年未満234

# 【町のことが好き・暮らしやすい・自分らしく過ごせる・住み続けたいか】

		全体	町へ貢献意向				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体		1265	17.4	47.9	10.5	8.2	16.0
町が好きなか	好き	501	29.1	47.5	6.6	3.2	13.6
	どちらかといえば好き	637	10.7	53.7	11.3	7.2	17.1
	どちらかといえば嫌い	114	5.3	21.9	24.6	28.9	19.3
	嫌い	13	0.0	7.7	0.0	69.2	23.1
町は暮らしやすいか	暮らしやすい	420	25.0	49.8	7.9	4.3	13.1
	どちらかといえば暮らしやすい	647	15.3	50.4	10.0	7.3	17.0
	どちらかといえば暮らしにくい	159	8.8	39.6	18.9	15.7	17.0
	暮らしにくい	39	5.1	20.5	12.8	35.9	25.6
自分らしく過ごせるか	自分らしく過ごせる	308	33.1	43.5	7.1	3.9	12.3
	どちらかといえば自分らしく過ごせる	746	13.8	52.5	10.6	5.2	17.8
	どちらかといえば自分らしく過ごせない	165	7.3	42.4	16.4	19.4	14.5
	自分らしく過ごせない	46	6.5	21.7	10.9	45.7	15.2
住み続けたいか	住み続けたい	475	28.4	49.1	6.1	3.8	12.6
	どちらかといえば住み続けたい	400	12.5	56.3	10.0	4.8	16.5
	どちらともいえない	311	10.0	43.1	16.7	10.6	19.6
	どちらかといえば住みたくない	58	5.2	22.4	19.0	36.2	17.2
	住みたくない	21	4.8	4.8	4.8	61.9	23.8

# 【7】 アンケートはまちづくりのコミュニケーション・ツールって本当？

【全対象者1265名】

37.地域の活動やイベントのなかで、今後積極的に、オンラインやSNSを使った非接触・遠隔化を進めていった方がよいもの

38.本アンケートに回答してみたの印象や感想

39.「広川町を元気にするまちづくり」についてのアイデアや意見の分析

40.132名の方がアンケート結果を知りたいとメルアドを記述

# 37.地域の活動やイベントのなかで、今後積極的に、オンラインやSNSを使った非接触・遠隔化を進めていった方がよいもの

## ●回覧板

SNS回覧板、LINE回覧板

## ●告知・連絡

LINEやFacebookを使った告知方法、LINEを使った災害時避難の確認、訃報などの連絡方法、地区のお知らせ

## ●イベント・交流

LIVEなど飛沫感染などを起こすような物、オンライン国際交流、オンライ

ンで講演会など人が多く集まるイベント、子供会の行事

## ●手続き・決済

オンライン選挙、給食費や町内会費の振込決済、電子決済

## ●自治会

テレビ電話自治会、オンラインでの総会

## ●見守り

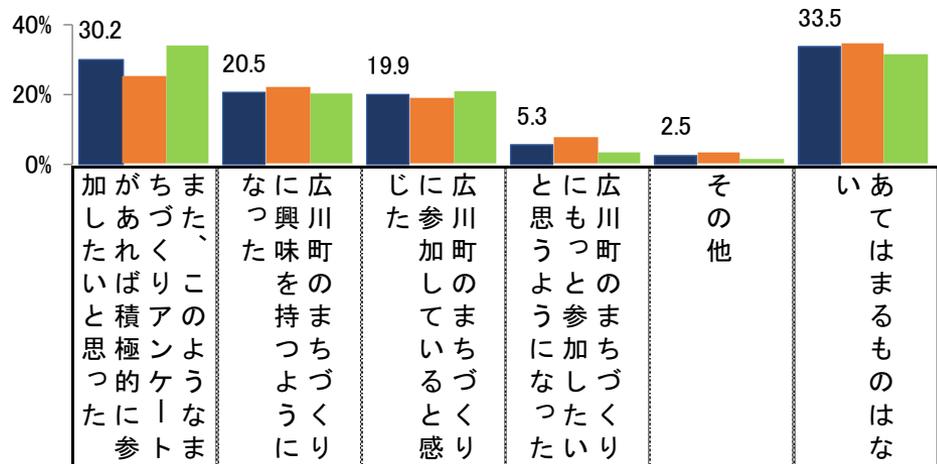
行政による独居老人のオンライン見守り

## ●環境整備

ホームページが見にくく、情報が遅いので、速く更新して欲しい  
広川町のホームページの充実とWi-Fi環境整備

# 38.本アンケートに回答してみたの印象や感想

## 【性別・学生・居住年数別】



全体 (N=1265)	30.2	20.5	19.9	5.3	2.5	33.5
男性(n=526)	25.5	22.2	19.2	7.8	3.4	34.6
女性(n=704)	34.3	20.3	21.1	3.5	1.3	31.3
学生 (n=86)	26.7	18.6	40.7	3.5	2.3	26.7
居住年数3年未満(n=89)	28.1	31.5	21.3	12.4	2.2	27.0
3年以上10年未満(n=234)	33.3	19.2	15.8	3.0	2.6	38.5
10年以上20年未満(n=328)	28.0	18.9	21.6	3.7	2.7	34.5
20年以上30年未満(n=239)	28.9	21.3	24.3	4.2	2.9	30.5
30年以上(n=373)	31.4	19.8	18.0	7.0	2.1	33.0

# 39.「**広川町を元気にするまちづくり**」についてのアイデアや 意見の分析

## ●**コンセプトマッパー分析 (スプリングモデルシミュレーション)**

**キーワード(単語)間の関連性をバネ(スプリング)に見立てた物理モデルをシミュレーションすることによってマッピングを行う。**

**キーワードは、強いバネによって他のキーワードと引っ張り合ったり反発したりしながらダイナミックに動き、最終的に適正な場所に配置される。**

**関連度の高い単語は近くに、関連度の低い単語は離れて配置されるので、キーワード同士の関連が可視化される。**

**【トレンドサーチ2015(富士通ソフトウェアテクノロジーズ社)による自由記述キーワード分析】**

